



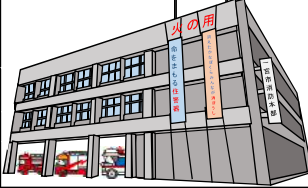

消防年報




**Ichinomiya City Fire Department
Annual Report**





2021 第 71 号





一宮市消防本部

一 目 統 計

			
面積・人口・世帯数	予 算	署 所	消防職員
面積 113.82Km ² 人口 383,582人 世帯数 164,198世帯 令和3年4月1日現在	一般会計予算 120,290,000千円 消防予算 3,979,486千円 令和3年度予算	消防本部 1 消防署 3 分署 1 出張所 8 令和3年4月1日現在	条例定数 401人 現員数 401人 令和3年4月1日現在

			
消防団員	消 防 車 両		119番受信
条例定数 605人 現員数 510人 令和3年4月1日現在	タンク車 16台 ポンプ車 4台 救急車 14台 はしご車 2台	救助工作車 2台 化学車 1台 その他 28台 合 計 67台 令和3年4月1日現在	火 災 181件 救 急 15,263件 その他 5,546件 合 計 20,990件 令和2年中

			
火 災	出火原因	救 助	救 急
建 物 28件 車 両 7件 その他 22件 合 計 57件 令和2年中	1位 たき火 7件 1位 放火 7件 3位 放火の疑い 5件 令和2年中	出動件数 178件 活動件数 114件 救助人員 100人 令和2年中	出動件数 16,361件 搬送人員 15,513人 令和2年中

			
音 楽 隊	査察対象物	危険物施設	消防クラブ会員
隊員数 36人 令和3年4月1日現在 演奏回数 4回 令和2年度中	特定対象物 2,113か所 非特定対象物 2,651か所 令和3年4月1日現在	製造所 3か所 貯蔵所 261か所 取扱所 150か所 令和3年4月1日現在	幼年 9,058人 少年 6,972人 婦人 346人 令和3年4月1日現在

一宮市民憲章

わたしたちのまち一宮市は、木曾の清流と豊かな濃尾平野にはぐくまれ、先人のたゆまぬ努力により、繊維を中心として発展してきました。

わたしたちは、このまちの市民であることに誇りを持ち、互いに手をたずさえて、未来へはばたく「心ふれあう躍動のまち一宮」をつくることをめざし、ここにこの憲章を定めます。

1. **い**のちを大切にし、
だれもが安心して暮らせる 福祉のまちをつくります。
1. **ち**きゅうを愛し、
自然も人も共生できる 住みよいまちをつくります。
1. **の**びやかに青少年が育ち、
個性を生かす 教育と文化のまちをつくります。
1. **み**どり豊かなふるさとを守り、
活力ある産業のまちをつくります。
1. **や**さしさと思いやりに満ち、
夢と希望があふれるまちをつくります。

[平成 19 年 3 月 28 日制定]

はじめに

本市消防本部は、皆様の暖かいご支援とご協力のもと、地域に根ざした防災機関として着実に発展を遂げ、時代とともに変貌する各種災害に対して、的確に対応できる体制の充実強化に努めてまいりました。

しかしながら、気候変動の影響により気象災害は激甚化・頻発化し、また、南海トラフ地震や首都直下地震などの大規模地震も今後発生することが危惧されております。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、いまだ国民生活に多大な影響を及ぼしております。また、自然災害では九州地方を中心に大きな被害をもたらした令和2年7月豪雨、台風10号が記憶に新しいところです。

このような環境の中、本市は市制施行100周年となる記念すべき年を迎え、令和3年4月1日に尾張地域では初の「中核市」に移行しました。

中核市移行にあたり、本市消防本部では大規模災害に対応する高度な救助用資機材を装備し、救助のための専門的な知識・技術を有する精鋭隊員から構成される「高度救助隊」を発隊しました。さらに、新型コロナウイルス感染防止対策として救急車両へのオゾン除染機の導入、大規模水害への対策として高機能救命ボートの配備等、消防力の先進的強化を進めております。

結びにあたりまして、誰もが安心して安全に暮らせるまちをつくるべく、職員一人一人が力を合わせ、一丸となって取り組んでまいります。

本書は、令和3年4月1日現在における本市の消防体制及び令和2年中の市内で発生した火災等の実態を取りまとめて収録したものです。

ご高覧を賜り、本市消防行政の飛躍に向け、市民の皆様の一層のご理解を深めていただくための一助となれば幸いに存じます。

令和3年7月

一宮市消防本部

○2021 年度 全国統一防火標語

おうち時間 家族で点検 火の始末



○令和 2・3 年度 一宮市防火標語

行ってきます 出かける前に 火の確認



○一宮市住宅用火災警報器の設置促進標語

あっ！！火事だ！！

「にげろ」のめざまし じゅうけいき



目 次

I 総 括

市の概要	1
一宮市の人口・世帯数	2
消防機関の配置	3
消防のあゆみ	4
消防の主な行事	7
消防情勢の推移	8
消防本部・消防署の組織	10
消防本部・消防署の事務分掌	11
消防団の組織	12
消防本部・消防署の庁舎現況	13
消防団の庁舎現況	14
消防本部・消防署車両の現勢	16
消防団車両の現勢	19
消防音楽隊のあゆみ	20
消防音楽隊の編成	23
消防音楽隊の活動状況	23

II 総 務

当初予算の推移	24
決算額と構成の推移	24
消防職員の配置	25
消防職員の年齢	27
消防職員の勤続年数	27
消防職員資格等保有状況	28
消防職員教育研修状況	29
災害防止	30
安全管理	30
消防協力者表彰	30
施設・装備充実事業	31

III 通 信 ・ 気 象

指令システム構成図	32
無線設備	33
指令回線等一覧表	34
月別119番受信状況	35

携帯電話からの月別119番受信状況	36
月別気象状況	37
一宮市の警報・注意報発表基準	37

IV 消防団

消防団の現況	38
消防団及び消防団員の状況	38
消防団の活動状況	38
年報酬額	39
費用弁償	39
消防団員の退職状況	39
消防団員の新任状況	39
消防団員の職業構成と就業形態	39
消防団員の年齢	40
消防団員の勤続年数	41

V 予防

火災予防普及活動状況	42
幼年・少年・婦人消防クラブの現況	42
街頭消火器設置状況	43
街頭消火器火災使用状況	44
査察対象物数	45
中高層建築物数	46
各種届出件数	47
用途別同意建築物数	48
危険物施設数	49
指定数量の倍数・類別危険物施設数	50
危険物施設の設置・変更許可等	51
タンク検査状況	51
危険物施設届出等状況	51

VI 火災

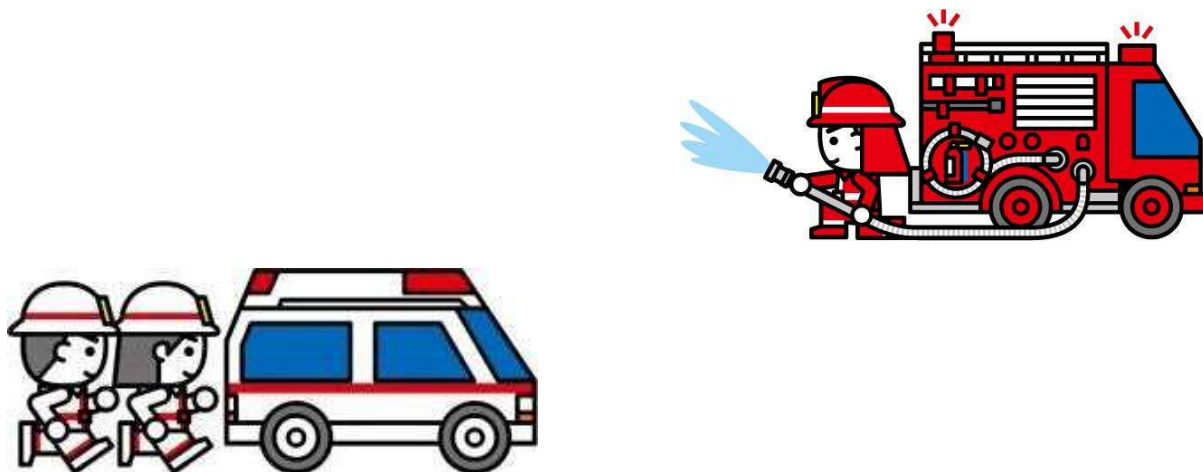
火災の概況	52
出火原因	53
建物用途別・原因別件数	54
連区・月別の火災件数	55
過去10年間の火災発生件数	57
高速道路の火災	58

VII 警 防

消 防 車 両 の 配 置 状 況	59
災 害 種 別 の 出 動 状 況	60
月 別 庁 外 業 務 活 動 状 況	61
消 防 活 動 用 資 器 材 の 配 置	62
消 防 水 利 の 現 況	64
応 援 協 力 計 画	65
緊 急 消 防 援 助 隊 の 概 要	66
緊 急 消 防 援 助 隊 の 派 遣 実 績	66

VIII 救 急 ・ 救 助

過 去 10 年 間 の 救 急 活 動 状 況	68
曜 日 ・ 月 別 救 急 出 動 件 数	69
曜 日 ・ 月 別 救 急 搬 送 人 員	70
地 区 別 救 急 出 動 件 数	71
地 区 別 救 急 搬 送 人 員	71
現 場 到 着 所 要 時 間 別 救 急 出 動 件 数	72
収 容 所 要 時 間 別 救 急 搬 送 人 員	72
年 齢 区 分 ・ 傷 病 程 度 別 救 急 搬 送 人 員	73
救 急 高 度 化 の 推 移	74
救 急 隊 員 の 行 っ た 応 急 処 置 等 件 数	75
高 速 道 路 の 救 急 活 動 状 況	77
応 急 手 当 等 の 普 及 活 動 状 況	78
救 助 活 動 状 況	79
月 別 救 助 出 動 状 況	80
救 助 訓 練 等 実 施 状 況	81



総括



市の概要

一宮市は、広大な濃尾平野のほぼ中央に位置し、温和な気候、風土に恵まれ、早くから発展してきました。

大正10年9月1日に市制を施行、昭和15年に葉栗村、西成村と合併して市域を拡大し、近代都市としての形態を整えるに至りました。

そして、昭和30年1月に丹陽村と浅井町、4月に北方村、大和町、今伊勢町、奥町、萩原町、千秋村とそれぞれ合併し、さらに平成17年4月に尾西市、木曾川町と合併し現在の113.82 km²の都市が実現しました。

令和3年4月1日現在、人口383,582人、世帯数164,198世帯となり、市北部から西部へと約18キロメートルにわたって接する木曾川がはぐくんだ豊かな自然や、これまで蓄積された歴史・文化を礎に、安心・元気・協働の基本理念のもと、「木曾の清流に映え、心ふれあう躍動都市 一宮」を将来像としたまちづくりを目指し躍進を続けています。

愛知県



一宮市



■位置：北緯35度18分、東経136度48分

■面積：113.82 km²

東西15.3 km、南北13.3 km

■人口：383,582人

男187,378人 女196,204人

■世帯数：164,198世帯

■人口密度：3,370人/km²

(令和3年4月1日現在)

■Location : Lat. 35° 18' N&Long. 136° 48' E

■Area : 113.82 km²

East-West : 15.3 km、North-South : 13.3 km

■Population : 383,582 people

Male: 187,378 people, Female: 196,204 people

■Number of households : 164,198 households

■Population density : 3,370 people/km²

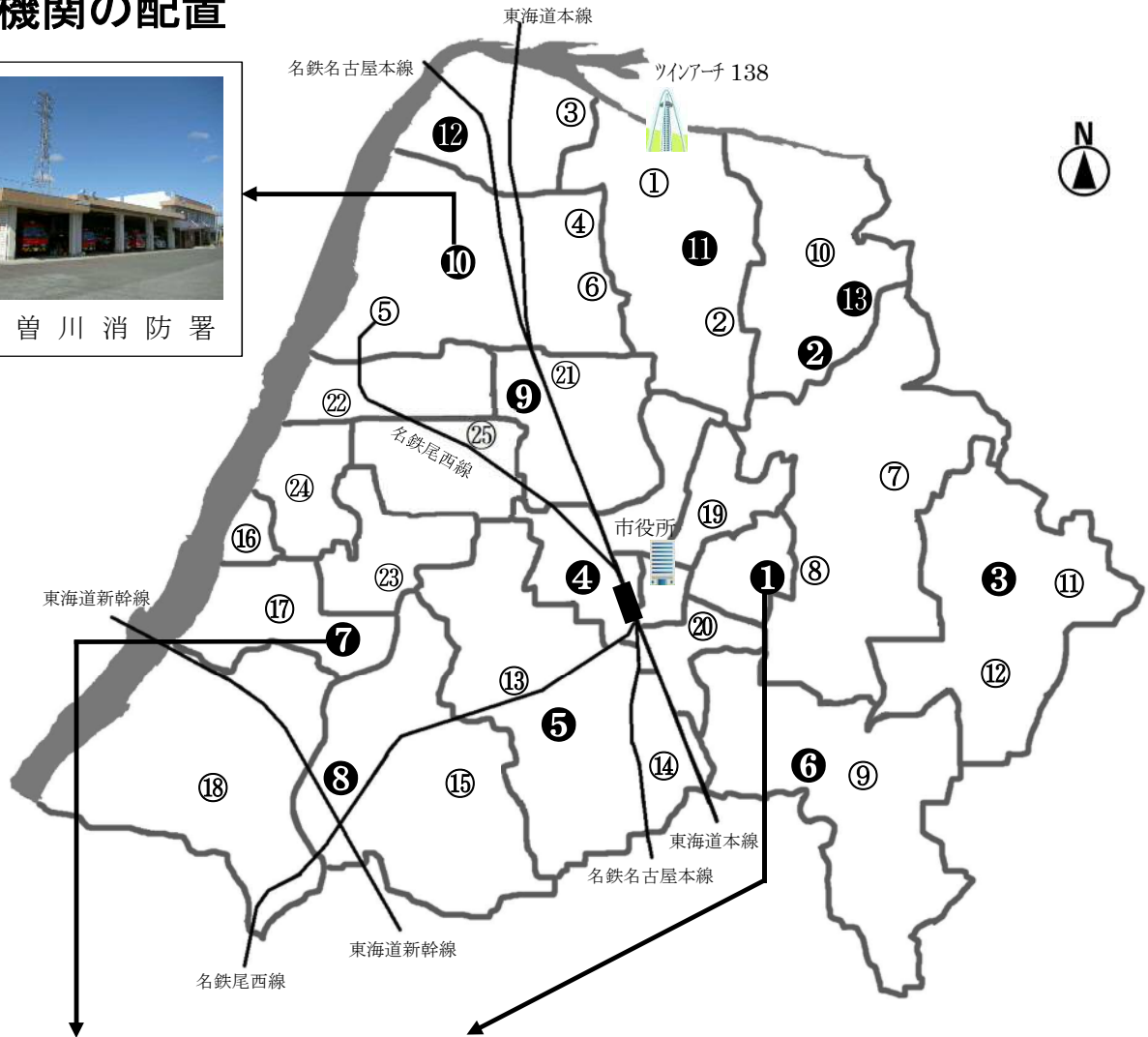
(As of April. 1. 2021)

一宮市の人口・世帯数

令和3年4月1日現在

区 分	世 帯 数	人 口		
		総 数	男	女
合 計	164,198	383,582	187,378	196,204
宮 西	5,076	11,540	5,524	6,016
貴 船	5,253	11,702	5,602	6,100
神 山	7,285	15,617	7,572	8,045
大 志	2,342	4,957	2,350	2,607
向 山	4,140	9,249	4,500	4,749
富 士	4,374	9,572	4,621	4,951
葉 栗	6,782	16,577	8,095	8,482
西 成	14,452	34,641	17,027	17,614
丹 陽 町	12,674	28,661	14,441	14,220
浅 井 町	8,276	19,550	9,480	10,070
北 方 町	3,870	9,457	4,637	4,820
大 和 町	18,572	42,435	20,814	21,621
今 伊 勢 町	11,584	26,529	12,952	13,577
奥 町	5,855	14,389	6,937	7,452
萩 原 町	7,739	18,315	8,867	9,448
千 秋 町	6,933	17,332	8,473	8,859
起	1,394	3,215	1,562	1,653
小 信 中 島	4,363	10,841	5,323	5,518
三 条	5,744	13,457	6,482	6,975
大 徳	4,343	10,223	5,038	5,185
朝 日	5,203	12,491	6,115	6,376
開 明	3,602	8,492	4,151	4,341
木 曾 川 町	14,342	34,340	16,815	17,525

消防機関の配置



※詳しくはこちらをご覧ください
 一宮市公式ウェブサイト内
 地図情報サイト「138 マップ」
<https://www.sonicweb-asp.jp/ichinomiya>
【施設・地域情報】
 ↓
【消防施設】

消防本部・消防署・出張所・倉庫		分団庁舎			
消防本部	消防署	北部方面隊	東部方面隊	南部方面隊	西部方面隊
① 消防本部	⑦ 尾西消防署	① 葉栗北	⑦ 西成北	⑬ 大和西	⑱ 真清北
② 浅井・西成消防出張所	⑧ 萩原消防出張所	② 葉栗南	⑧ 西成南	⑭ 大和東	⑳ 真清南
③ 千秋消防出張所	⑨ 今伊勢・奥消防出張所	③ 北方	⑨ 丹陽	⑮ 萩原	㉑ 今伊勢
④ 八幡消防分署	⑩ 木曾川消防署	④ 木曾川北	⑩ 浅井	⑯ 起	㉒ 奥
⑤ 大和消防出張所	⑪ 葉栗消防出張所	⑤ 木曾川西	⑪ 千秋北	⑰ 大徳	㉓ 三条
⑥ 丹陽消防出張所	⑫ 北方消防出張所	⑥ 木曾川東	⑫ 千秋南	⑱ 朝日	㉔ 小信中島
	⑬ 浅井消防倉庫				㉕ 開明

消防のあゆみ

(一):旧一宮市消防本部

(尾):旧尾西市消防本部

(木):旧木曾川町消防本部

昭和23年 3月(一)	消防組織法施行により一宮市消防本部を創設し、従来の常備消防部を消防署に昇格
昭和23年 3月(木)	消防組織法施行により警察機関から分離した消防団発足
昭和25年11月(一)	消防庁舎(旧庁舎)が新柳通1の29地内(現本町1丁目)に完成
昭和25年12月(一)	市を縦断する東海道線の西部地区警備体制強化のため、八幡出張所を開所
昭和30年 1月(尾)	中島郡起町と朝日村が合併し市制を施行、尾西市が誕生と同時に尾西市消防団を設置、1団制6分団、消防ポンプ自動車6台、団員195名で発足
昭和30年 4月(尾)	尾西市に中島郡今伊勢町開明地区を編入、境界変更に伴い消防団を再編、1団制7分団、消防ポンプ自動車7台、団員227名で再発足
昭和33年 9月(一)	消防署に救護隊を新設し救急業務を開始
昭和33年10月(尾)	市総務課に中短波無線電話を設置
昭和35年 4月(一)	奥出張所を奥町字下口西地内に開所
昭和35年 9月(尾)	市総務課に職員7名をもって常備消防体制が発足
昭和35年10月(尾)	尾西市消防本部設置条例を制定
昭和35年12月(一)	萩原出張所を萩原町萩原地内に開所
昭和36年 9月(一)	浅井出張所を浅井町東浅井地内に開所 東部出張所を千秋町佐野地内に開所 なお敷地内に整備工場を併設し、業務を開始
昭和37年 4月(尾)	消防本部職務規則を制定し救急業務開始
昭和37年 9月(一)	南部出張所を丹陽町猿海道地内、北部出張所を大字更屋敷地内に開所
昭和39年 3月(尾)	昭和35年制定の消防本部設置条例を廃止し、新たに消防本部・署設置条例を制定
昭和39年 9月(尾)	昭和37年制定の消防本部職務規則を廃止し、新たに消防本部組織及び職務規則並びに消防署職務規程を制定
昭和40年 6月(尾)	消防庁舎が東五城地内に完成(旧庁舎)
昭和43年 4月(一)	消防庁舎(本部・本署)が花祇通6丁目(現庁舎)に完成
昭和43年 4月(木)	政令指定により消防本部(署)発足・消防庁舎(旧庁舎)完成
昭和45年 2月(木)	救急車(兼広報車)を購入し救急業務開始
昭和53年 5月(木)	消防庁舎が黒田地内に完成(現木曾川署)
昭和55年 1月(一)	大和出張所を大和町苅安賀地内に開所

昭和57年 1月(一)	西成出張所を大字西大海道地内に開所
昭和57年 6月(尾)	消防本部組織及び職務規則並びに消防署職務規程を改正し、消防本部は庶務係、消防係、予防係の3係、消防署は警備第1・2係、通信第1・2係、整備係の5係
昭和61年 1月(一)	今伊勢消防出張所を今伊勢町馬寄地内に開所 出張所の名称が変更され、南部出張所が丹陽出張所に、東部出張所が千秋出張所になり、出張所の名称を「消防出張所」と改称
昭和62年 3月(一)	葉栗消防出張所を大字大毛地内に救急業務を主体として開所
昭和63年 1月(一)	消防署八幡消防分署に部隊を増強、東西の出動体制を確立
昭和63年12月(尾)	消防本部及び消防署の組織に関する規則・規程を新たに制定
平成元年10月(一)	大和消防出張所に救急隊を配置
平成元年11月(尾)	消防庁舎が西五城地内に完成(現尾西署)消防緊急通信指令施設(I型)及び消防団緊急伝達システム運用開始
平成 2年 3月	愛知県下広域消防相互応援協定締結
平成 2年 4月(一)	消防本部の組織改革を行い、予防防災課を新設、従来の管理課を総務課と改称
平成 2年 5月	尾張西北部地区消防相互応援協定締結
平成 3年 4月(一)	北部消防出張所が北方消防出張所になり、北方町北方地内に開所 葉栗消防出張所に消防隊を配置
平成 4年 3月(一)	消防緊急通信指令システムを導入し、情報連絡体制を確立 市民への防災思想普及を目指し「一宮市民防災センター」を開所
平成 5年 3月(木)	消防緊急通信指令施設(I型)を運用開始
平成 5年 4月(尾)	消防本部の組織に関する規則を改正、消防署の組織に関する規程を改正
平成 5年 4月(一)	救急救命士1名、救急Ⅱ課程修了者3名により、高規格救急自動車の運用開始
平成 5年 8月(一)	救急救命率向上を目指し、生体情報伝送装置を導入
平成 7年 6月(一)	緊急消防援助隊発足 本市消防は救急部隊を編成登録
平成 8年 1月(木)	消防庁舎車庫増築、救急救命士2名により高規格救急自動車運用開始
平成 9年 3月(一)	浅井消防出張所を浅井町小日比野地内に移転
平成10年12月(一)	千秋消防出張所を千秋町佐野字加村地内に移転
平成11年 4月(一)	東海北陸自動車道の開通に伴い、葉栗消防出張所に救助隊を配置
平成12年11月(尾)	聴覚障害者用119番受信ファクシミリの導入
平成13年 4月(一)	消防本部の組織改革を行い、予防防災課予防防災係を予防係と防災係に分化
平成14年 3月(尾)	消防緊急通信指令施設(I型)を更新
平成14年 4月(一)	千秋消防出張所に救急隊を配置し、救急隊7隊すべて高規格救急自動車で運用

平成14年 4月(尾)	消防本部及び消防署の組織に関する規則を改正し予防係を予防防災係、警備係を火災救助係とした。
平成15年 4月(一)	緊急消防援助隊に消火部隊を編成登録、救急部隊を追加編成登録
平成16年 8月	市町合併を前に消防緊急通信指令システムを更新し、一宮市消防本部と木曽川町消防本部が共同通信運用開始
平成17年 4月	一宮市、尾西市、木曽川町との合併に伴い、一宮市消防本部はそのまま、旧尾西市消防本部は尾西消防署、旧木曽川町消防本部は木曽川消防署に名称変更
平成19年 4月	一宮市消防団3団(一宮・尾西・木曽川)の報酬、費用弁償、階級を統一
平成20年 4月	一宮市消防団3団の連合を一団に統合
平成21年 4月	八幡消防分署に特別救助隊を、丹陽消防出張所に救急隊を配置 女性消防吏員を初採用 一宮市消防団第7方面隊(木曽川)を再編、30分団を26分団とした。
平成23年 4月	萩原消防出張所庁舎移転に伴い、救急隊を配置 尾西消防署に特別消防隊を配置
平成24年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新
平成24年 4月	一宮市消防団を再編、26分団を25分団、7方面隊を4方面隊とし、尾西地区の分団名称を変更
平成25年 4月	今伊勢消防出張所と奥消防出張所の統合に伴い、今伊勢・奥消防出張所を開所し、救急隊を配置
平成27年 3月	「一宮市民防災センター」を閉所
平成28年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新 消防救急デジタル無線設備整備
平成28年 4月	「一宮市・稲沢市消防指令センター」を運用開始 八幡消防分署の特別救助隊を一宮消防署本署に配置 消防署の組織に関する規程を改正、従来の一宮消防署管理グループを管理課と改称
平成29年 3月	一宮消防署本署に支援車を導入
平成29年 4月	浅井消防出張所と西成消防出張所の統合に伴い、浅井・西成消防出張所を開所し、救急隊を配置 一宮消防署本署に特別消防隊を配置
平成31年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新
令和 2年 2月	旧丹陽消防出張所を解体し、訓練スペースを整備
令和 2年10月	Net119緊急通報システムの運用を開始
令和 3年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新 一宮消防署本署に救助資機材搬送車を導入
令和 3年 4月	一宮消防署本署に高度救助隊を配置 木曽川消防署に特別救助隊を配置

消防の主な行事

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

令和2年			
月	日	行事名	実施場所
5月	12日	消防本部安全衛生委員会	消防本部
7月	21日	消防職員委員会	消防本部
9月	30日	民間業者との合同訓練	木曾川消防署
10月	20日	消防本部安全衛生委員会	消防本部
	21日～ 12月17日	児童防火作品入賞作品展示	中央図書館、尾西図書館、木曾川庁舎、 ツインアーチ138タワー展望台
11月	1日	一宮市消防団観閲式	尾西河川敷グラウンド
	2日	令和2年秋季火災予防運動消防訓練	大和南小学校
	4・5日	第1回甲種防火管理新規講習会	尾西消防署
	8日	第42回一宮市消防音楽隊定期演奏会	一宮市民会館
	10日～13日	令和2年度警防技術発表会	尾西消防署
	17・18日	第2回甲種防火管理新規講習会	尾西消防署
	19日	5G×消防・救急 実証実験デモンストレーション	一宮市総合体育館屋外、138タワーパーク 駐車場
	19・20日	第3回甲種防火管理新規講習会	尾西消防署
	24・25日	第4回甲種防火管理新規講習会	尾西消防署
	26日	警察等合同危険物車両路上立入検査	毛受地内主要地方道岐阜稲沢線
12月	17日	年末特別査察	名鉄百貨店一宮店
	18日	年末特別査察	MEGAドン・キホーテUNY一宮大和店、 イオンモール木曾川、テラスウォーク一宮、 一宮ニッケ・コーナンプラザ、ピアゴ尾西店
	21日	年末特別査察	ピアゴプラス妙興寺店
	22日	年末特別査察	パロー一宮西店、アピタ木曾川店、 エディオン一宮本店
	29・30日	消防団年末特別警戒	各分団庁舎
令和3年			
3月	3日	一宮市婦人消防クラブ防火パトロール	テラスウォーク一宮、大志連区、奥町連区
	10日	土砂災害・ショアリング技術講習会	一宮消防署本署
	15日	令和2年度緊急消防援助隊 愛知県大隊尾張ブロック実働訓練	尾三消防本部
	18日	甲種防火管理再講習会	尾西消防署

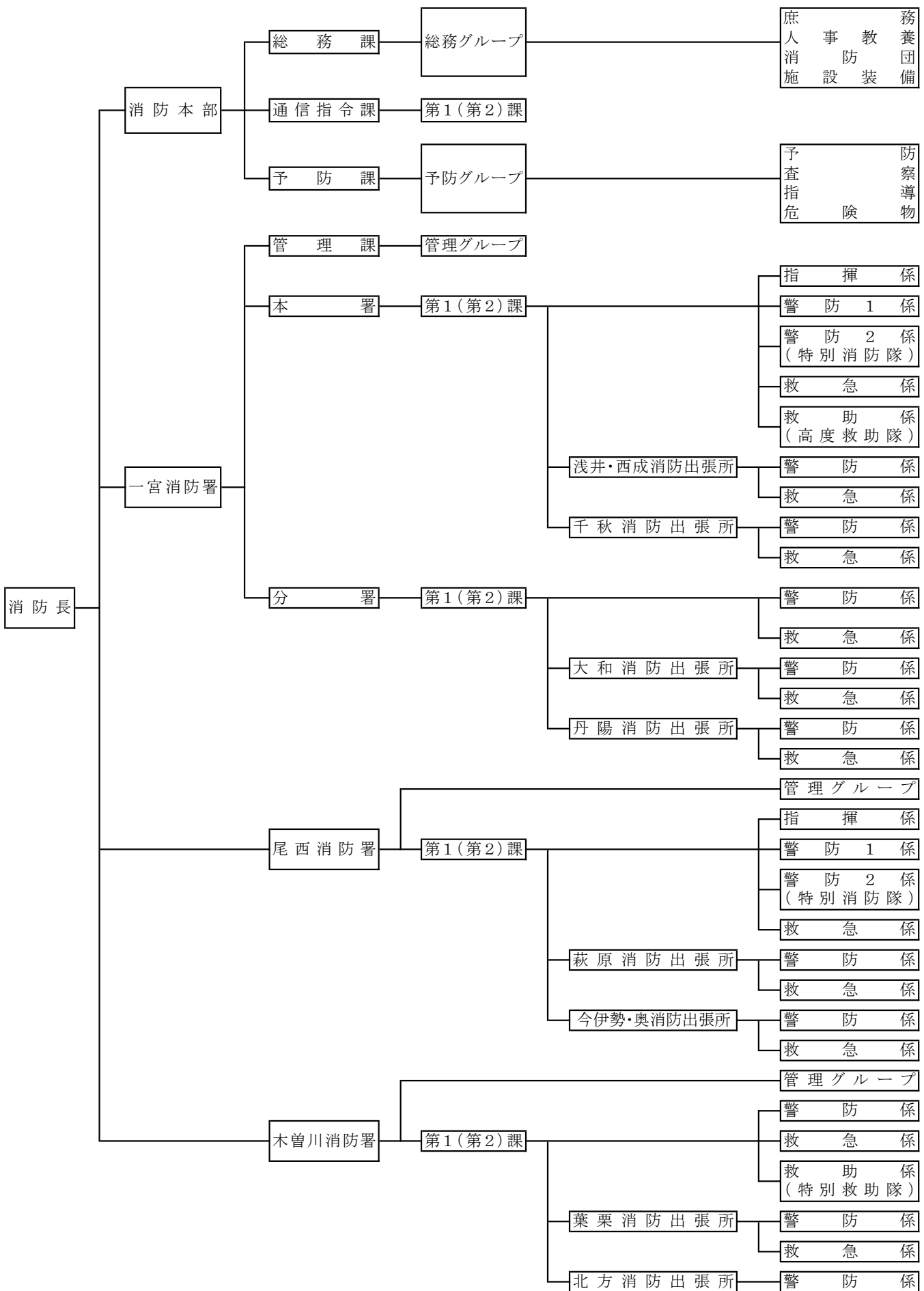
消防情勢の推移

	年別	市勢		(消(防千 年度予円 算)	職員(実員)		水利(公設のみ)		
		人口	世帯		消防吏員	その他	消火栓	防火井戸	防火水槽
旧一宮市	平成12年	278,869	91,295	2,491,621	251	1	2,707	378	272
	平成13年	279,115	91,796	2,635,074	256	1	2,746	378	273
	平成14年	280,778	94,064	2,730,724	269	1	2,794	374	274
	平成15年	281,772	95,888	3,536,546	265	1	2,854	373	276
	平成16年	283,079	98,013	2,555,423	265	1	2,895	370	278
旧尾西市	平成12年	58,668	18,800	690,273	67	1	568	185	23
	平成13年	58,963	19,049	716,541	65	2	574	184	23
	平成14年	58,932	19,264	587,803	63	3	581	185	23
	平成15年	58,901	19,518	719,320	63	3	604	227	23
	平成16年	59,006	19,894	580,935	63	2	618	227	23
旧木曾川町	平成12年	31,457	10,307	422,413	38	1	223	26	75
	平成13年	31,576	10,440	435,446	38	1	223	26	75
	平成14年	31,848	10,666	410,040	40	1	224	26	75
	平成15年	32,065	10,834	535,346	42	1	224	26	75
	平成16年	32,340	11,052	403,905	44	1	224	26	75
一宮市	平成17年	377,216	133,401	3,642,931	364	3	3,784	621	373
	平成18年	378,725	135,786	3,453,484	367	2	3,818	619	377
	平成19年	381,036	138,435	3,552,094	369	1	3,841	615	377
	平成20年	383,308	141,180	3,532,269	368	1	3,868	613	377
	平成21年	384,706	143,259	3,420,599	368	1	3,886	612	377
	平成22年	385,772	144,838	3,449,748	374	1	3,910	611	377
	平成23年	386,132	146,178	3,566,530	383	1	3,946	611	377
	平成24年	386,390	147,585	3,608,915	388	1	3,960	608	377
	平成25年	386,447	148,759	3,496,663	388		3,978	607	377
	平成26年	386,429	150,754	3,453,097	386	1	3,980	606	377
	平成27年	386,410	152,651	4,650,533	382	1	3,988	605	375
	平成28年	386,094	154,692	3,934,001	389		4,005	603	375
	平成29年	386,105	156,693	3,716,700	389		4,017	603	375
	平成30年	385,777	158,534	4,263,243	390		4,023	603	375
	令和元年	385,160	160,426	4,049,916	396		4,032	603	375
令和2年	384,790	162,551	4,080,905	400		4,040	603	376	
令和3年	383,582	164,198	3,979,486	401		4,053	602	381	

(備考) 旧一宮市の市勢、職員、水利、消防団については、平成12年までは1月1日現在の数値
 平成13年以降は4月1日現在の数値
 令和3年から40㎡未満の防火水槽を水利数に計上

火 災				救 急		救 助		消 防 団	
火災 件数	損害額 (千円)	死者	負傷者	出動 件数	搬送 人員	出動 件数	救助 人員	消防 団数	団員 数 (実員)
167	362,028	1	15	7,980	8,046	156	77	1	316
171	219,923	1	14	8,058	8,186	144	64	1	315
152	300,597	5	6	8,308	8,375	127	59	1	316
145	369,009	1	10	9,055	9,009	152	66	1	316
154	219,349	2	24	9,721	9,708	167	65	1	319
35	28,186	4	1	1,368	1,422	10	10	1	149
21	20,788		4	1,397	1,432	12	14	1	154
37	69,740	3	5	1,452	1,486	20	17	1	153
30	28,574		3	1,662	1,678	15	18	1	151
38	15,981		4	1,807	1,815	28	11	1	152
13	5,786	1	1	704	705	2		1	122
20	95,841		2	747	755	10	6	1	122
17	31,124	1	3	864	861	5	8	1	123
10	44,743		1	856	855	5	3	1	118
12	20,938			1,000	1,006	7	4	1	117
160	284,098	7	9	13,600	13,407	156	63	3	582
169	823,324	5	35	13,622	13,346	171	78	3	587
199	496,587	9	19	13,784	13,444	213	83	3	583
164	120,129	10	15	13,478	12,935	183	103	1	580
162	166,070	5	27	14,007	13,403	203	99	1	562
131	121,566	8	20	14,786	14,078	195	76	1	543
131	162,609	7	15	15,692	14,887	214	90	1	540
101	116,025	2	20	15,400	14,574	163	67	1	526
87	201,673	3	6	15,674	14,874	193	86	1	500
104	248,407	5	13	15,592	14,629	196	77	1	502
83	87,236	5	9	16,167	15,257	190	86	1	510
99	55,087	3	16	16,882	15,923	210	113	1	516
80	96,788	2	13	17,381	16,416	229	119	1	516
68	365,878	4	10	18,274	17,262	241	109	1	526
59	196,002	1	8	18,626	17,716	234	112	1	531
57	792,224	2	8	16,361	15,513	178	100	1	527
—	—	—	—	—	—	—	—	1	510

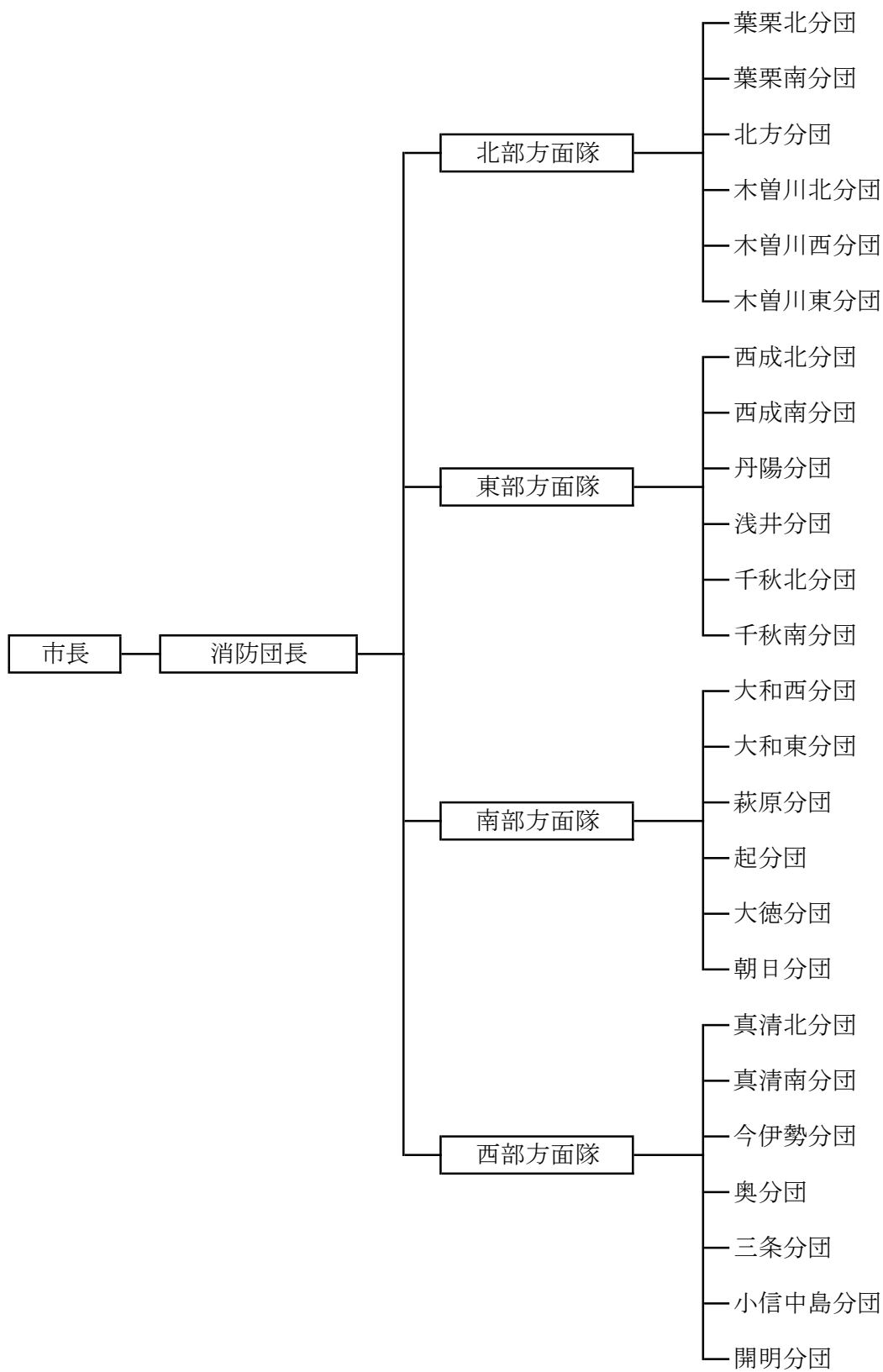
消防本部・消防署の組織



消防本部・消防署の事務分掌

消 防 本 部	
総 務 課	<ul style="list-style-type: none"> ○予算の執行及び経理、文書の管理、統計、消防総合計画の企画調整 ○職員の人事及び教養、安全管理及び衛生管理、表彰、音楽隊、消防職員委員会、福利厚生、広報 ○消防団、水防、儀式 ○施設、水利、車両及び装備の整備、消防相互応援、消防計画
通 信 指 令 課	<ul style="list-style-type: none"> ○災害受信、消防部隊の統制運用、消防通信の運用、消防防災に係る情報収集及び伝達、無線局の管理、無線従事者の選任及び解任、庁内情報システムの運用
予 防 課	<ul style="list-style-type: none"> ○火災予防対策の企画調整、火災の調査及び火災調査技術の研究指導 ○防火管理、査察基準の策定及び査察技術の指導、火災予防査察、防火対象物の定期点検制度及び自主点検制度 ○建築確認及び許可の同意、建築物等の防火及び防災、消防用設備等の設置の指導及び検査 ○危険物の規制及び指導、危険物製造所等の許認可及び検査、危険物取扱者及び危険物保安監督者の育成指導、少量危険物及び指定可燃物等の規制、液化石油ガス等の保安、防火対象物の違反処理
消 防 署	
管 理 課 (一宮消防署)	<ul style="list-style-type: none"> ○消防署の予算編成、所管施設及び車両の修繕、消防署の企画調整、災害の警戒及び防ぎよ、救急統計、消防署員の救急教育及び訓練、救急の普及及び応急手当指導
管理グループ (尾西消防署) (木曾川消防署)	<ul style="list-style-type: none"> ○火災予防条例等の届出、防火管理、火災予防査察、火災の調査、消防団、所管施設及び車両の修繕
指 揮 係 警 防 1・2 係	<ul style="list-style-type: none"> ○災害の警戒及び防ぎよ、警防計画及び訓練、地理及び水利の調査研究、火災予防査察、火災の調査、自主防災会、消防署の庶務、火災予防条例等の届出
救 急 係 救 助 係	<ul style="list-style-type: none"> ○救急及び救助活動並びに災害の警戒及び防ぎよ、火災予防査察、救助の統計、消防署の設備の管理

消防団の組織



消防本部・消防署の庁舎現況

令和3年4月1日現在

名 称	所 在 地	構 造	延床面積(㎡)	敷地面積(㎡)	建築年月
消 防 本 部 一 宮 消 防 署 本 署	緑 1 丁 目 1 番 10 号	鉄筋コンクリート造3階建	2,667.00	3,419.99	S43.3
消 防 本 部 西 車 庫	緑 1 丁 目 1 番 10 号	鉄 骨 造 平 家 建	191.19	上記に併設	S59.3
消 防 本 部 南 車 庫	緑 1 丁 目 1 番 10 号	鉄 骨 造 平 家 建	134.70	上記に併設	H14.11
浅井・西成消防出張所	浅井町東浅井字新開前27番地	鉄 骨 造 2 階 建	572.45	2,730.42	H29.3
千 秋 消 防 出 張 所	千 秋 町 佐 野 字 加 村 1 番 地 1	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	359.07	1,323.00	H10.11
消 防 署 整 備 工 場 (防 災 備 蓄 倉 庫 併 設)	千 秋 町 佐 野 字 加 村 1 番 地 1	鉄 骨 造 平 家 建	147.51 (83.44)	上記に併設	H10.11
八 幡 消 防 分 署	八 幡 4 丁 目 1 番 12 号	鉄筋コンクリート造2階建	498.81	751.28	H20.9
大 和 消 防 出 張 所	大 和 町 苅 安 賀 字 上 東 出 37 番 地	鉄筋コンクリート造平家建 車庫・鉄骨造折板葺	347.68	1,421.67	S54.12
丹 陽 消 防 出 張 所	多 加 木 4 丁 目 30 番 13 号	鉄 骨 造 2 階 建	384.84	1,071.08	H21.3
尾 西 消 防 署	西 五 城 字 中 切 浦 13 番 地 1	鉄筋コンクリート造3階建	2,290.05	6,580.70	H1.11
尾 西 消 防 署 倉 庫	西 五 城 字 中 切 浦 13 番 地 1	鉄 骨 造 平 家 建	72.78	上記に併設	H1.10
萩 原 消 防 出 張 所	萩 原 町 串 作 字 水 絶 15 番 地	鉄 骨 造 2 階 建	485.74	1,105.45	H23.3
今 伊 勢 ・ 奥 消 防 出 張 所	今 伊 勢 町 馬 寄 字 東 瀬 古 22 番 地 1	鉄 骨 造 2 階 建	526.69	1,852.59	H25.3
木 曾 川 消 防 署	木 曾 川 町 黒 田 字 北 宿 二 の 切 247 番 地 1	鉄筋コンクリート造2階建	1,409.48	5,271.87	S53.3
葉 栗 消 防 出 張 所	大 毛 字 御 申 塚 19 番 地	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	356.45	1,089.00	S62.3
葉 栗 消 防 出 張 所 倉 庫	大 毛 字 御 申 塚 19 番 地	鉄 骨 造 平 家 建	51.84	上記に併設	S62.3
北 方 消 防 出 張 所	北 方 町 北 方 字 西 金 丸 60 番 地	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	408.39	1,125.30	H3.3
浅 井 消 防 倉 庫	浅 井 町 小 日 比 野 字 本 郷 36 番 地 3	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	358.29	934.61	H9.3

※()内の面積は外数で記載

消防団の庁舎現況

令和3年4月1日現在

	名 称	所 在 地	構 造	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	建築年月
北 部 方 面 隊	葉栗北分団	光明寺字山屋敷23番地5	鉄骨造平家建	67.82	238.73	H15.12
	葉栗南分団	島村字下老光寺30番地	鉄骨造平家建	69.60	621.61	H20.3
	北方分団	北方町北方字中屋敷郷263番地	鉄骨造平家建	60.35	519.61	H5.1
	木曾川北分団	木曾川町黒田字松山東72番地	鉄筋コンクリート造 2階建	126.00	188.00	H2.3
	木曾川西分団	木曾川町玉ノ井字穴太部5番地	鉄筋コンクリート造 2階建	99.00	203.14	H14.3
	木曾川東分団	木曾川町黒田八ノ通り139番地1	鉄筋コンクリート造 2階建	138.23	556.14	H13.3
東 部 方 面 隊	西成北分団	西大海道字本郷85番地10	鉄骨造平家建	60.35	300.49	H6.3
	西成南分団	大赤見字鷺目4番地1	鉄骨造2階建	97.94	252.00	H19.3
	丹陽分団	平島3丁目6番9号	鉄骨造平家建	63.90	376.08	H13.12
	浅井分団	浅井町前野字郷西43番地1	鉄骨造平家建	105.00	380.00	H4.2
	千秋北分団	千秋町加納馬場字高須56番地1	鉄骨造2階建	97.94	147.61	H21.2
	千秋南分団	千秋町小山字城41番地1	鉄骨造平家建	68.90	624.01	H18.2

	名 称	所 在 地	構 造	延床面積 (m ²)	敷地面積 (m ²)	建築年月
南部方面隊	大和西分団	大和町荻安賀字火口上1665番地	鉄骨造2階建	97.94	149.75	H14.12
	大和東分団	大和町妙興寺字高畑14番地1	鉄骨造平家建	56.00	221.86	H3.3
	萩原分団	萩原町河田方字西狭間7番地3	鉄骨造平家建	68.90	495.00	H17.3
	起分団	起字西茜屋27番地2	鉄骨造平家建	72.90	628.10	H25.12
	大徳分団	西五城字飛石北31番地1	鉄骨造平家建	97.20	611.00	H16.3
	朝日分団	明地字西阿古井80番地	鉄骨造平家建	72.90	490.86	H24.3
西部方面隊	真清北分団	桜3丁目11番10号	鉄骨造平家建	50.60	352.12	S62.3
	真清南分団	大志2丁目7番9号	鉄骨造2階建	54.88	85.96	S58.3
	今伊勢分団	今伊勢町馬寄字吉田浦56番地1	鉄骨造平家建	60.35	593.00	H12.12
	奥分団	奥町字下口西23番地1	鉄骨造平家建	70.68	364.00	H22.2
	三条分団	三条字郷南西37番地1	鉄骨造平家建	72.90	381.95	H22.12
	小信中島分団	小信中島字中平10番地	鉄骨造2階建	116.36	281.64	H31.2
	開明分団	開明字杵西郭69番地1	鉄骨造平家建	97.20	736.12	H15.12

消防本部・消防署車両の現勢

令和3年4月1日現在

区分	名称	摘要	登録番号	車名 型式	購入 年度	経過 年数	ポンプ		
							級別	メーカー	
消防本部・一宮消防署本署	本部指令車		一宮 800 さ 1379	トヨタ DBA-ZRR85G	H26	6			
	本署指令車		一宮 800 さ 2297	トヨタ 5BF-S403M	R2	0			
	本署指揮車		一宮 800 さ 1851	トヨタ CBF-TRH226S	H29	3			
	本署1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮 800 は 244	日野 2KG-GX2ABA	R2	0	A2	モリタ	
	本署2号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮 800 は 25	日野 ADG-GX7JGWA改	H17	15	A2	長野ポンプ	
	一宮1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮 800 は 22	三菱 KK-FL63HGX改	H15	17	A2	日本ドライケミカル	
	本署はしご車	30m先端屈折はしご付消防自動車	一宮 830 す 2018	日野 2DG-FR1AJA	H30	2			
	本署救助工作車	3tクレーン装備	一宮 800 は 21	日野 ADG-GX7JGWA改	H17	15			
	救助資機材搬送車	パワーゲートアルミボディ	一宮 800 さ 2283	日野 2KG-XZU775M	R2	0			
	本署救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 た 138	トヨタ CBF-TRH226S	R1	1			
	一宮救急1号車	高規格救急自動車	一宮 800 さ 681	トヨタ CBF-TRH226S	H21	11			
	本署広報1号車		一宮 800 さ 164	トヨタ UA-NCP59G	H14	18			
	本署広報2号車		一宮 800 さ 264	ニッサン TA-NT30	H13	19			
	本署広報3号車		一宮 800 さ 170	トヨタ GF-AT211G	H12	20			
	本署広報4号車		一宮 480 う 1560	ダイハツ EBD-S321V	H30	2			
	本署広報5号車		一宮 800 さ 401	ニッサン UA-NE51	H15	17			
	本署広報6号車		一宮 800 さ 186	ニッサン CBA-NT30	H18	14			
	本署広報7号車		一宮 500 さ 6305	ホンダ GF-RF1	H12	20			
	本署広報8号車		一宮 100 さ 286	トヨタ GE-RZH183K	H14	18			
	本署広報9号車		一宮 500 そ 6867	ホンダ DBA-GB3	H22	10			
	搬送3号車	パワーゲート幌	一宮 800 さ 335	いすゞ PB-NKS81AR	H17	15			
支援車	20人乗りマイクロバス	一宮 800 さ 1684	ニッサン ABG-DHW41	H28	4				
出張所	浅井・西成	浅井・西成1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮 800 は 52	日野 SDG-GD7JGAA改	H23	9	A2	モリタ
		浅井・西成2号車	消防ポンプ自動車	一宮 800 さ 985	日野 SKG-XZU640M	H23	9	A2	モリタ
		浅井・西成救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 1812	トヨタ CBF-TRH226S	H30	2		
	千秋	千秋1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮 800 は 27	日野 BDG-GD7JGWA改	H19	13	A2	長野ポンプ
		千秋2号車	消防ポンプ自動車	一宮 800 さ 1986	日野 TPG-XZU640M	H30	2	A2	日本機械
		千秋救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 2012	トヨタ 3BF-TRH226S	R2	0		

区分	名称	摘要	登録番号	車名 型式	購入 年度	経過 年数	ポンプ		
							級別	メーカー	
八幡消防分署	分署指令車		一宮 800 さ 708	ニッサン DBA-NT31	H21	11			
	分署1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 66	日野 SDG-GD7JGAA改	H24	8	A2	モリタ	
	分署救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 2721	トヨタ CBF-TRH226S	H26	6			
	分署広報1号車		一宮 480 う 3037	スズキ HBD-DA17V	R1	1			
	搬送2号車	幌	一宮 800 さ 330	マツダ PB-LKS81AR	H17	15			
出張所	大和	大和1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 30	日野 BDG-GD7JGWA改	H20	12	A2	長野ポンプ
		大和救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 2822	トヨタ CBF-TRH226S	H27	5		
	丹陽	丹陽1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 45	日野 BDG-GD7JGWA改	H22	10	A2	モリタ
		丹陽救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 293	トヨタ CBF-TRH226S	H28	4		
尾西消防署	尾西指令車		一宮 800 さ 291	ニッサン CBA-MNE51	H17	15			
	尾西指揮車		一宮 800 さ 1553	トヨタ CBF-TRH226S	H27	5			
	尾西1号車	化学消防ポンプ自動車 (水 1,500ℓ、薬液 500ℓ)	一宮 800 は 245	日野 2KG-GX2ABA	R2	0	A2	モリタ	
	尾西2号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 147	いすゞ SKG-FSR90S2	H28	4	A2	長野ポンプ	
	一宮3号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 18	三菱 KK-FK61HEX	H15	17	A2	日本ドライ ケミカル	
	尾西はしご車	30m先端屈折はし ご付消防自動車	一宮 830 す 2019	日野 2DG-FR1AJA	R1	1			
	尾西救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 2821	トヨタ CBF-TRH226S	H27	5			
	一宮救急3号車	高規格救急自動車	一宮 800 さ 973	ニッサン CBF-FPWGE50改	H23	9			
	尾西広報1号車		一宮 800 さ 457	ニッサン GF-QU14	H11	21			
	尾西広報2号車		一宮 800 さ 507	トヨタ GC-KR42V	H12	19			
	尾西広報3号車		一宮 480 う 3036	スズキ HBD-DA17V	R1	1			
	搬送1号車		一宮 800 さ 345	マツダ PB-LKS81AR	H17	15			
	出張所	萩原	萩原1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 32	日野 BDG-GD7JGWA改	H21	11	A2
萩原2号車			消防ポンプ自動車	一宮 800 さ 2136	日野 2RG-XZU640M	R1	1	A2	日本機械
萩原救急1号車			高規格救急自動車	一宮 830 さ 2722	トヨタ CBF-TRH226S	H26	6		
今伊勢・奥		今伊勢・奥1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 77	日野 SDG-GD7JGAA改	H25	7	A2	モリタ
		今伊勢・奥2号車	消防ポンプ自動車	一宮 800 さ 724	日野 BDG-XZU334M	H21	11	A2	モリタ
		今伊勢・奥救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 252	ニッサン CBF-FPWGE50改	H24	8		

区分	名称	摘要	登録番号	車名 型式	購入 年度	経過 年数	ポンプ		
							級別	メーカー	
木曾川 消防署	木曾川 指令車		一宮 800 さ 529	トヨタ GF-RZJ95W	H14	18			
	木曾川 1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 65	日野 SDG-GD7JGAA改	H24	8	A2	モリタ	
	一宮2号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 11	いすゞ PB-FSS35G3J改	H16	16	A2	日本機械	
	木曾川 救助工作車	3tクレーン装備	一宮 800 は 9	日野 ADG-GD7JGWA改	H18	14			
	木曾川 救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 せ 301	トヨタ CBF-TRH226S	H29	3			
	一宮 救急2号車	高規格救急自動車	一宮 800 さ 721	ニッサン CBF-FPWGE50改	H21	11			
	木曾川 広報1号車		一宮 480 い 9920	スズキ HBD-DA17V	H29	3			
	木曾川 広報2号車		一宮 800 さ 424	トヨタ CBA-NCP59G	H17	15			
	搬送4号車	3tクレーン装備	一宮 800 さ 393	日野 ADG-FD7JLWA	H17	15			
出張 所	葉栗	葉栗1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 175	日野 2KG-GX2ABA	H29	3	A2	モリタ
		葉栗 救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 263	トヨタ CBF-TRH226S	H25	7		
	北方	北方1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 10	日野 ADG-GD7JGWA改	H18	14	A2	長野ポンプ

総数67台(消防本部・一宮消防署37台、尾西消防署18台、木曾川消防署12台)

タンク車	16台(非常用3台含む)	救助工作車	2台
ポンプ車	4台	化学車	1台
救急車	14台(非常用3台含む)	その他	28台
はしご車	2台		

消防団車両の現勢

令和3年4月1日現在

区分	名称	摘要	登録番号	車名 型式	購入 年度	経過		ポンプ	
						年数	級別	メーカー	
北部方面隊	葉栗北分団	葉栗北分団車	積載車	一宮830す119	ニッサン TC-SH4F23	H18	14	B2	トーハツ
	葉栗南分団	葉栗南分団車	ポンプ車	一宮800さ100	いすゞ PB-NKR81N	H16	16	A2	モリタ
	北方分団	北方分団車	ポンプ車	一宮830の119	いすゞ BKG-NMR85N	H22	10	A2	日本機械
	木曽川北分団	木曽川北分団車	積載車	一宮830ひ119	ニッサン CBF-SQ2F24	H23	9	B2	トーハツ
	木曽川西分団	木曽川西分団車	積載車	一宮830は119	ニッサン CBF-SQ2F24	H23	9	B2	トーハツ
	木曽川東分団	木曽川東分団車	ポンプ車	一宮830ね119	日野 BDG-XZU304E	H21	11	A2	モリタ
東部方面隊	西成北分団	西成北分団車	積載車	一宮830せ119	ニッサン TC-SH4F23	H18	14	B2	トーハツ
	西成南分団	西成南分団車	ポンプ車	一宮800さ376	日野 KK-XZU301E	H15	17	A2	モリタ
	丹陽分団	丹陽分団車	積載車	一宮800さ112	ニッサン TC-SH4F23	H16	16	B2	トーハツ
	浅井分団	浅井分団車	積載車	一宮830さ119	ニッサン TC-SH4F23	H18	14	B2	トーハツ
	千秋北分団	千秋北分団車	積載車	一宮830ち119	ニッサン TC-SH4F23	H19	13	B2	トーハツ
	千秋南分団	千秋南分団車	積載車	一宮830み119	ニッサン CBF-SQ2F24	R1	1	B2	シバウラ
南部方面隊	大和西分団	大和西分団車	積載車	一宮800さ406	ニッサン TC-SH4F23	H17	15	B2	トーハツ
	大和東分団	大和東分団車	ポンプ車	一宮830ぬ119	日野 BDG-XZU304E	H21	11	A2	小川ポンプ
	萩原分団	萩原分団車	ポンプ車	一宮800さ383	日野 KK-XZU301E	H15	17	A2	モリタ
	起分団	起分団車	積載車	一宮830て119	ニッサン CBF-SQ2F24	H20	12	B2	トーハツ
	大徳分団	大徳分団車	ポンプ車	一宮830に119	日野 BDG-XZU304E	H21	11	A2	小川ポンプ
	朝日分団	朝日分団車	積載車	一宮830ふ119	ニッサン CBF-SQ2F24	H24	8	B2	トーハツ
西部方面隊	真清北分団	真清北分団車	積載車	一宮830た119	ニッサン TC-SH4F23	H19	13	B2	トーハツ
	真清南分団	真清南分団車	ポンプ車	一宮800さ200	日野 KK-XZU301E	H14	18	A2	モリタ
	今伊勢分団	今伊勢分団車	積載車	一宮800さ407	ニッサン TC-SH4F23	H17	15	B2	トーハツ
	奥分団	奥分団車	ポンプ車	一宮800さ380	日野 KK-XZU301E	H15	17	A2	モリタ
	三条分団	三条分団車	ポンプ車	一宮830と119	日野 BDG-XZU304E	H20	12	A2	GMいちばら
	小信中島分団	小信中島分団車	積載車	一宮830な119	ニッサン CBF-SQ2F24	H21	11	B2	トーハツ
	開明分団	開明分団車	ポンプ車	一宮830ほ119	日野 TKG-XZU640M	H26	6	A2	長野ポンプ

総数 25台 (ポンプ車 11台、積載車 14台)

消防音楽隊のあゆみ

明治28年、一宮銀行頭取の佐分慎一郎氏が、外国から楽器を取り寄せ、銀行員を音楽隊員に任命し「一宮音楽会」が誕生しました。その頃は、日清戦争のさなかで隊員の服装も軍国調でした。演奏活動は、一宮駅等において出兵兵士の歓送迎や宮田用水通水式記念演奏などを行いました。

明治37年には、「一宮軍楽会」に改称しました。当時、音楽隊は大変珍しい存在でしたので、名古屋第三師団の招魂祭をはじめ、豊橋・四日市・静岡・箱根など各地から演奏依頼が殺到しました。しかし、押し寄せる戦争の波には勝てず演奏活動を続けることができなくなり楽器を第四尋常小学校（現在の大志小学校）へ保管していました。

その後、一宮第一青年団が音楽隊を再結成し、昭和9年には消防組がこれを受け継ぎ、全国初の消防音楽隊が誕生しました。大森喜代三郎氏を中心として音楽隊員を増員し、先代の軍楽会同様、各方面から好評を博し、演奏活動も軌道に乗りました。しかし、太平洋戦争の激化により、またも演奏活動を中止せざるをえなくなりました。

空襲により、市内の大部分が消失しましたが、楽器は市役所の望楼に保管したので、すべて無事でした。楽器が生き残ったおかげで、隊員こそ少人数になりましたが、再び練習が開始されました。焦土と化した中から、疲弊した市民を励ますように希望のメロディーが流れはじめました。苦難の時代も音楽活動を続け、消防音楽隊として定着してきました。

昭和36年に消防音楽隊は、一宮商工会議所管弦楽団と合併し、一宮吹奏楽団となりました。本格的な吹奏楽団としてオレンジ色の帽子、上着、クリーム色のズボン身をまとい、華やかな彩りと高度な技量を市民に披露しました。そして、昭和37年には演奏効果をより充実するため、楽器の編成に一部弦楽器を加え、名称を「一宮市音楽隊」に改称しました。昭和51年に一宮市音楽隊設置規則を制定、昭和62年には、「一宮市消防音楽隊」に改称しました。

現在は隊員37名が、市の行事はもちろん高齢者福祉施設や小中学校演奏会、各種イベント、パレード等、年間約35回の演奏活動を幅広く実施しています。

昭和55年から毎年市民会館で開催している定期演奏会では、ゲストに著名な歌手や指揮者を招いて一年間の練習の成果を発表しており、芸術の秋の一大イベントになっています。平成3年中には、一宮市制70周年記念事業に多数参加しイベントに花をそえました。

そして、平成5年は国民体育大会ソフトテニス競技会リハーサル大会の式典演奏を、平成6年には、第49回国民体育大会ソフトテニス競技会の式典演奏等を担当するなど、大会の運営に貢献するとともに、音楽隊誕生100周年を迎えました。この記念演奏会を7月と11月に2回開催し、多くの市民から好評を博しました。平成13年から、学校演奏会30周年を記念して第1回中学生と消防音楽隊のふれあいコンサートを開催し、情操教育の一環として演奏技術の向上を目的に毎年演奏活動を実施しています。

<年表>

- 明治28年 一宮銀行佐分頭取を理事長として一宮音楽会が発足、日清戦争出兵兵士の歓送演奏
- 明治32年 宮田用水通水記念演奏
- 明治37年 一宮軍楽会と改称
- 昭和 2年 一宮第一青年団音楽隊と改称し、大森喜代三郎氏が隊長兼指揮者として就任
- 昭和 9年 青年団音楽隊から一宮消防組音楽隊に改め隊員も消防組員を主体として全国初の消防音楽隊が発足
- 昭和19年 太平洋戦争の激化により活動を停止
- 昭和21年 隊員25名で消防音楽隊を再編成
- 昭和36年 消防音楽隊は一宮商工会議所管弦楽団と合併し、一宮吹奏楽団としてスタート
- 昭和37年 一宮市音楽隊と改称し市営となる
- 昭和38年 創立3周年記念音楽会を開催
- 昭和43年 NHK土曜コンサートで全国放送
- 昭和44年 名古屋まつり市中パレードに出演
- 昭和46年 一宮市繊維団地完成祝典演奏
- 昭和47年 プロ野球オープン戦入場式及び演奏会、ドリル演奏を実施
- 昭和51年 一宮市音楽隊設置規則制定
一宮ライオンズクラブ結成20周年記念式典演奏
愛知県消防大会で記念演奏
- 昭和53年 一宮市民憲章制定発表会で記念演奏
一宮市スポーツ文化センター完成式で記念演奏
ロータリークラブ国際年次大会で記念演奏
- 昭和54年 日中友好国際ソフトボール大会の入場式及び演奏会
- 昭和55年 一宮市音楽隊20周年記念演奏会を開催
- 昭和62年 一宮市音楽隊を一宮市消防音楽隊と改称し、隊長の大森喜代三郎氏は名誉隊長に、隊長には消防長がそれぞれ就任
- 平成元年 世界デザイン博覧会のJTミュージックラン、一宮フェスティバルに出演
- 平成 2年 「イーストマン・ウインド・アンサンブル」指揮者ドナルド・ハンスバーガー氏に指導を受ける
- 平成 3年 一宮市制70周年記念事業に多数参加
- 平成 4年 指揮者としてチェコスロバキア出身アントニン・キューネル氏を迎える
- 平成 5年 国民体育大会ソフトテニス競技会リハーサル大会の開会式、表彰式、閉会式の演奏を担当
- 平成 6年 第49回国民体育大会ソフトテニス競技会の開始式、表彰式、閉会式の演奏を担当
7月と11月に音楽隊誕生100周年記念演奏会を開催
- 平成 7年 第17回定期演奏会で交響詩「阪神大震災」(アントニン・キューネル作曲)を初演
- 平成 9年 第19回定期演奏会で新調したユニフォームを初披露

- 平成10年 第10回定期演奏会に名古屋市消防音楽隊(カラーガード隊リリーエンゼルス)が友情出演
- 平成13年 学校演奏会30周年を記念し、第1回中学生と消防音楽隊のふれあいコンサートを開催
一宮市制80周年記念として、第23回定期演奏会に神崎愛氏をゲストとして迎える
- 平成16年 第26回定期演奏会で「しょうぼうじどうしゃじふた」を題材に子供たちの演劇を演奏
- 平成20年 第30回定期演奏会で「カルメン」をテーマにゲストによる歌と踊り、そして音楽隊とのコラボレーションを披露
- 平成21年 第31回定期演奏会で市民参加による吹奏楽と合唱のコラボレーション、合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」を披露
- 平成22年 第32回定期演奏会で「スポーツと音楽」をテーマにスポーツ&音楽ライターの玉木正之氏と元フィギュアスケート選手の中野友加里氏をゲストに迎える
- 平成23年 第33回定期演奏会で「世界を旅する」をテーマに野村哲也氏(写真家)、八木澤教司氏(作曲家)、大石邦彦氏(CBCアナウンサー)をゲストに迎える
- 平成24年 第34回定期演奏会で「ミュージカル」をテーマに新妻聖子氏(ミュージカル女優)をゲストに迎える
- 平成25年 第35回定期演奏会で「世界の中の日本」をテーマに山口晃司氏(津軽三味線奏者)、白井奈津氏(ラジオDJ)をゲストに迎える
- 平成26年 第36回定期演奏会で桂米團治氏(落語家)をゲストに迎え、桂氏の語りと音楽隊の演奏のコラボレーションによるバレエ音楽「白鳥の湖」を披露
- 平成27年 第60回七夕まつりを記念して東京ディズニーリゾート・スペシャルパレードにマーチングバンドとして出演
第37回定期演奏会で神野三枝氏(ラジオパーソナリティー)をゲストに迎え、神野氏の多彩なトークと音楽隊とのコラボレーションにより幅広い年代層に愛されている「映画音楽」を披露
- 平成28年 第38回定期演奏会で青島広志氏(作曲家)をゲストに迎え、日本の吹奏楽にスポットをあて、吹奏楽オリジナル作品を披露
- 平成29年 第39回定期演奏会で石川直氏(ルーディメンタルドラマー)をゲストに迎え、打楽器にスポットをあて、打楽器の躍動感やリズムを様々な音楽に乗せて披露
- 平成30年 第40回定期演奏会で林望氏(作家)と矢野きよ実氏(パーソナリティー・書家)をゲストに迎え、イギリス諸国を代表する作曲家の作品を中心に、音楽を時代考証しながら披露
- 令和元年 第41回定期演奏会で立浪一義氏(中日ドラゴンズOB)をゲストに迎え、高校野球の応援歌を中心に演奏を披露
- 令和 2年 第42回定期演奏会で石丸幹二氏(俳優)をゲストに迎え、「ミュージカルの世界」をテーマに演奏を披露

消防音楽隊の編成

令和3年4月1日現在

隊 長	消防長 小島 広之		
副 隊 長	佐野 正樹		
常任指揮者	稲垣 雅之		
フルート・ピッコロ	3	バリトンサキソフォン	1
オーボエ	1	トランペット	4
E♭ クラリネット	1	ホルン	4
クラリネット	6	ユーフォニウム	1
アルトクラリネット	1	トロンボーン	4
バスクラリネット	1	チューバ	2
アルトサキソフォン	2	ティンパニー・パーカッション	4
テナーサキソフォン	1	計	36

消防音楽隊の活動状況

令和2年度中

区 分	合 計	内 容				練 習
		演 奏				
		部 内	市関係	その他	計	
4 月	1					1
5 月						
6 月	5					5
7 月	4					4
8 月	5					5
9 月	5					5
10 月	9					9
11 月	8	2			2	6
12 月	5		1		1	4
1 月	2					2
2 月	3					3
3 月	11		1		1	10
合 計	58	2	2		4	54

総務



当初予算の推移

(単位 千円)

科目		年度				
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一般会計		110,040,000	113,220,000	113,430,000	115,970,000	120,290,000
消防費		3,716,700	4,263,243	4,049,916	4,080,905	3,979,486
消防費内訳	常備消防費	3,407,543	3,754,638	3,571,454	3,702,484	3,618,035
	非常備消防費	107,406	107,184	105,313	106,717	106,267
	消防施設費	192,151	394,505	366,231	264,340	248,825
	水防費	9,600	6,916	6,918	7,364	6,359

決算額と構成の推移

(単位 千円)

科目		年度				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
一般会計		114,494,731	113,521,211	113,679,172	115,202,350	115,195,501
消防費		4,470,485	3,877,787	3,718,491	4,228,143	4,030,706
消防費内訳	常備消防費	4,062,915	3,329,857	3,410,996	3,734,223	3,559,082
	非常備消防費	107,721	118,969	111,611	103,626	104,050
	消防施設費	290,224	419,336	186,285	383,378	360,656
	水防費	9,625	9,625	9,600	6,916	6,918
消防費の構成比		3.9%	3.4%	3.3%	3.7%	3.5%
人口一人当たりの消防費(円)		11,569	10,044	9,631	10,960	10,465
1世帯当たりの消防費(円)		29,286	25,068	23,731	26,670	25,125

消防職員の配置

令和3年4月1日現在(単位 人)

区 分		合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士		
合 計		401	1	2	15	27	78	194	29	55		
消 防 本 部	消 防 長	1	1									
	消 防 本 部 次 長	1		1								
	総 務 課	課 長	1		1							
		専 任 課 長	1			1						
		総 務 課 付	3				1	2				
		庶 務 担 当	3				1	2				
		人 事 教 養 担 当	3				1	2				
		消 防 団 担 当	5				1	4				
		施 設 装 備 担 当	3				1	2				
	通 信 指 令 課	課 長	1		1							
		専 任 課 長	2			2						
		課 長 補 佐	1				1					
		第 1 課	7				2	5				
		第 2 課	7				2	4	1			
		予 防 指 導 課	課 長	1		1						
			専 任 課 長	1			1					
	予 防 担 当		3				1	2				
	指 導 担 当		3				1	2				
	危 険 物 担 当		3				1	2				
査 察 担 当	3				1	2						
一 宮 消 防 署	署 長	1		1								
	管 理 課	課 長	1		1							
		担 当 司 令 担 当	8				3	4	1			
	本 署 第 1 (第 2) 課	消 防 1 課 長	2		2							
		消 防 2 課 長	2		2							
		救 助 担 当 司 令	2			2						
		指 揮 係	8				2	6				
		警 防 1 係	15				2	6		7		
		警 防 2 係 (特 別 消 防 隊)	12				2	9	1			
		救 助 係 (高 度 救 助 隊)	12				2	9	1			
		救 急 係	14				2	5	5	2		
		千 秋 課	担 当 司 令	2			2					
	浅 井 ・ 西 成 消 防 出 張 所 警 防 係		8				2	4		2		
浅 井 ・ 西 成 消 防 出 張 所 救 急 係	10					2	5	2	1			
担 当 司 令	2				2							
千 秋 課	千 秋 消 防 出 張 所 警 防 係	8				2	4		2			
	千 秋 消 防 出 張 所 救 急 係	10				2	5	3				

令和3年4月1日現在(単位 人)

区 分		合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
一宮消防署	分署 長	1			1						
	担当 司令	2				2					
	警防係	12					2	8		2	
	救急係	12					2	6	2	2	
	大和	担当 司令	2				2				
		大和消防出張所 警防係	8					2	3	1	2
		大和消防出張所 救急係	10					2	5	1	2
	丹陽	担当 司令	2				2				
		丹陽消防出張所 警防係	8					2	4		2
		丹陽消防出張所 救急係	10					2	6	1	1
尾西消防署	署 長	1			1						
	管理グループ	3					2		1		
	消防1課 長	2			2						
	消防2課 長	2			2						
	指揮係	8					2	5		1	
	警防1係	14					2	6		6	
	警防2係(特別消防隊)	12					2	5	1	4	
	救急係	10					2	4	2	2	
	萩原	担当 司令	2				2				
		萩原消防出張所 警防係	8					2	5		1
		萩原消防出張所 救急係	10					2	6	1	1
	今伊勢・奥	担当 司令	2				2				
		今伊勢・奥消防出張所 警防係	8					2	4		2
今伊勢・奥消防出張所 救急係		10					2	6		2	
木曾川消防署	署 長	1			1						
	管理グループ	3					1	1	1		
	担当 司令	2				2					
	救助担当 司令	2				2					
	警防係	12					2	4	2	4	
	救助係(特別救助隊)	12					2	10			
	救急係	10					2	7		1	
	葉栗	担当 司令	2				2				
		葉栗消防出張所 警防係	8					2	4		2
		葉栗消防出張所 救急係	10					2	7		1
北方	担当 司令	1				1					
	北方消防出張所 警防係	9					2	2	2	3	

※再任用短時間勤務職員(消防士長)9名を除く

消防職員の年齢

令和3年4月1日現在(単位 人)

区 分	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	401	1	2	15	27	78	194	29	55
18歳から19歳	8								8
20歳以上24歳以下	29								29
25歳以上29歳以下	33							16	17
30歳以上34歳以下	46						32	13	1
35歳以上39歳以下	74						74		
40歳以上44歳以下	82					10	72		
45歳以上49歳以下	75				5	54	16		
50歳以上54歳以下	25			5	12	8			
55歳以上60歳以下	29	1	2	10	10	6			
平均年齢	39.3	59.0	56.5	56.0	53.2	47.1	38.8	29.3	22.9

※再任用短時間勤務職員(消防士長)9名を除く

消防職員の勤続年数

令和3年4月1日現在(単位 人)

区 分	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	401	1	2	15	27	78	194	29	55
1年未満から5年	61							8	53
6年から10年	40						19	19	2
11年から15年	71						69	2	
16年から20年	65					1	64		
21年から25年	56				1	27	28		
26年から30年	57			2	7	35	13		
31年から35年	22			4	8	9	1		
36年以上	29	1	2	9	11	6			
平均年数	18.1	36.0	38.0	36.3	33.7	27.1	16.8	7.2	2.0

※再任用短時間勤務職員(消防士長)9名を除く

消防職員資格等保有状況

令和3年4月1日現在(単位 人)

区 分		合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
救 急 救 命 士		91		1	1	10	25	41	6	7	
	薬 剤 投 与 救 急 救 命 士	75		1	1	9	17	39	6	2	
	気 管 挿 管 救 急 救 命 士	18				4	4	10			
救急Ⅱ課程・救急標準課程修了者		284	1	1	14	17	53	153	23	22	
大型一種自動車免許		325		1	15	22	73	183	18	13	
中型一種自動車免許		36					2	9	11	14	
自 動 車 士 免 許	ディーゼル	2 級	2				1	1			
		3 級	2					2			
	ガソリン	2 級	3				1	2			
		3 級	4					2	2		
	シヤシ	3 級	4				3	1			
危 険 物 取 扱 免 状	甲 種	5	1				1	3			
	乙 種	第 4 類	61			2	3	14	35	6	1
		第 6 類	16				1	4	11		
	丙 種	18				2	10	6			
陸上特殊無線技士	第 2 級	260			4	4	19	163	29	41	
	第 3 級	99		1	6	12	50	30			
消 防 設 備 士 免 状	甲 種	2					1	1			
	乙 種	10					2	7	1		
1・2級小型船舶操縦士免許		106	1	1	2	6	34	56	5	1	
ガ ス 溶 接 技 能 講 習		23		1	3	4	8	7			
有 機 溶 剤 作 業 主 任 者 技 能 講 習		16					6	9	1		
高 圧 ガ ス 製 造 保 安 責 任 者 免 状		7			2	3	2				
第 一 種 衛 生 管 理 者 免 許		16			1	3	10	2			
ボ イ ラ ー 取 扱 技 能 講 習		5	1		1	1	1	1			
足 場 の 組 立 て 等 作 業 主 任 者 技 能 講 習		51		1	4	7	25	14			
小 型 移 動 式 ク レ ー ン 運 転 技 能 講 習		159		2	11	17	38	84	6	1	
玉 掛 け 技 能 講 習		276		1	5	8	33	172	29	28	
酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者 技 能 講 習		40		1	6	9	18	5	1		
潜 水 士 免 許		95			3	4	31	48	6	3	
予 防 技 術 資 格 者 (防 火 査 察 専 門 員)		19	1		3	2	4	9			
予 防 技 術 資 格 者 (消 防 設 備 等 専 門 員)		15			3	1	3	8			
予 防 技 術 資 格 者 (危 険 物 専 門 員)		12	1		3		5	3			
接 遇 研 修 指 導 者		5			1		3	1			
J K E T 研 修 指 導 者		2				2					

消防職員教育研修状況

令和2年度中

科 目	回数	受講者	日数	科 目	回数	受講者	日数
○派遣教育				○その他の教養			
消防大学校				全国消防長会東海支部消防長研修会	1	1	1
幹部科(第62期)	1	1	47	愛知県消防学校受託研修	1	1	14
救助科(第81期)	1	1	51	安全運転管理者講習会	1	4	1
火災調査科(第39期)	1	1	51	副安全運転管理者講習会	1	1	1
高度救助・特別高度救助コース	1	1	12	整備主任者技術研修会	1	1	1
県消防学校				消防職員安全衛生研修会(東海支部)	1	2	1
初任科(第110期)	1	4	131	心電図セミナー	1	4	1
初任科(第111期)	1	9	136	全国救急隊員シンポジウム(Web)	1	2	2
救急科(第126期)	1	2	52	全国救助シンポジウム(Web)	1	11	1
救急科(第127期)	1	6	55	土砂災害・ショアリング技術講習会	1	25	1
地震防災科(第15期)	1	2	2	○資格取得・技能講習			
救急救命士養成				酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	1	2	3
救急救命東京研修所	1	1	193	有機溶剤作業主任者技能講習	1	1	2
大阪市消防局高度専門教育訓練センター	1	1	196	小型移動式クレーン運転技能講習	1	6	3
救急救命士関係				2級小型船舶操縦士試験	1	3	1
包括運用教育	1	3	1	潜水土免許試験	1	2	1
薬剤投与プロトコール運用試験	1	3	1	予防技術検定	1	2	1
救急業務教育指導者試験	1	1	1	○本部教養・所属教養			
処置範囲拡大運用試験	1	3	1	消防大学校伝達教養(データ配信)	1		

災害防止

平成29年9月労働安全衛生法の規定に基づき、一宮市職員安全衛生管理規程が定められ、消防本部の安全衛生管理体制も強化され、災害の防止に取り組んでいます。

〈安全衛生管理体制〉

令和3年4月1日現在

区 分	総 括 安全衛生 管理 者	副安全衛 生管理者	衛 生 者 管 理 者	委 員	産 業 医	安全衛生 推 進 者
人 員	1	1	2	7	2	12

安全管理

最近の公務災害は、3年間で5件発生しています。

〈過去3年間の災害種別公務災害発生状況〉

(単位 件)

区 分	合 計	消防訓練中	消火活動中	救急活動中	救助活動中	その他
合 計	5	2	1		1	1
平成30年中	1		1			
令和元年中	3	1			1	1
令和2年中	1	1				

消防協力者表彰

火災その他の災害現場において早期発見、消火・救助等の協力及び消防施設の強化充実、保全等消防に対して著しく功労があった方に市長感謝状として贈るものです。

令和2年中

表彰種別	合 計	火 災	救 助	救 急	その他
表彰件数	4		2	2	
表彰人員	9		4	5	

施設・装備充実事業

《尾西1号車 更新》

化学消防ポンプ自動車

- 1,500リットルの水槽、500リットルの薬液槽及び泡混合装置を装備し、消防用資機材、AEDを含む呼吸管理資機材を積載



《本署1号車 更新》

水槽付消防ポンプ自動車

- 1,500リットルの水槽及びC A F S (圧縮空気泡消火装置)を装備し、消防用資機材、AEDを含む呼吸管理資機材を積載



《千秋救急1号車 更新》

高規格救急自動車

- 高度救命処置用資機材及び応急処置資機材を積載



《救助資機材搬送車 新規》

- 高度救助隊が乗車し出動する車両で、高度救助資機材等を積載

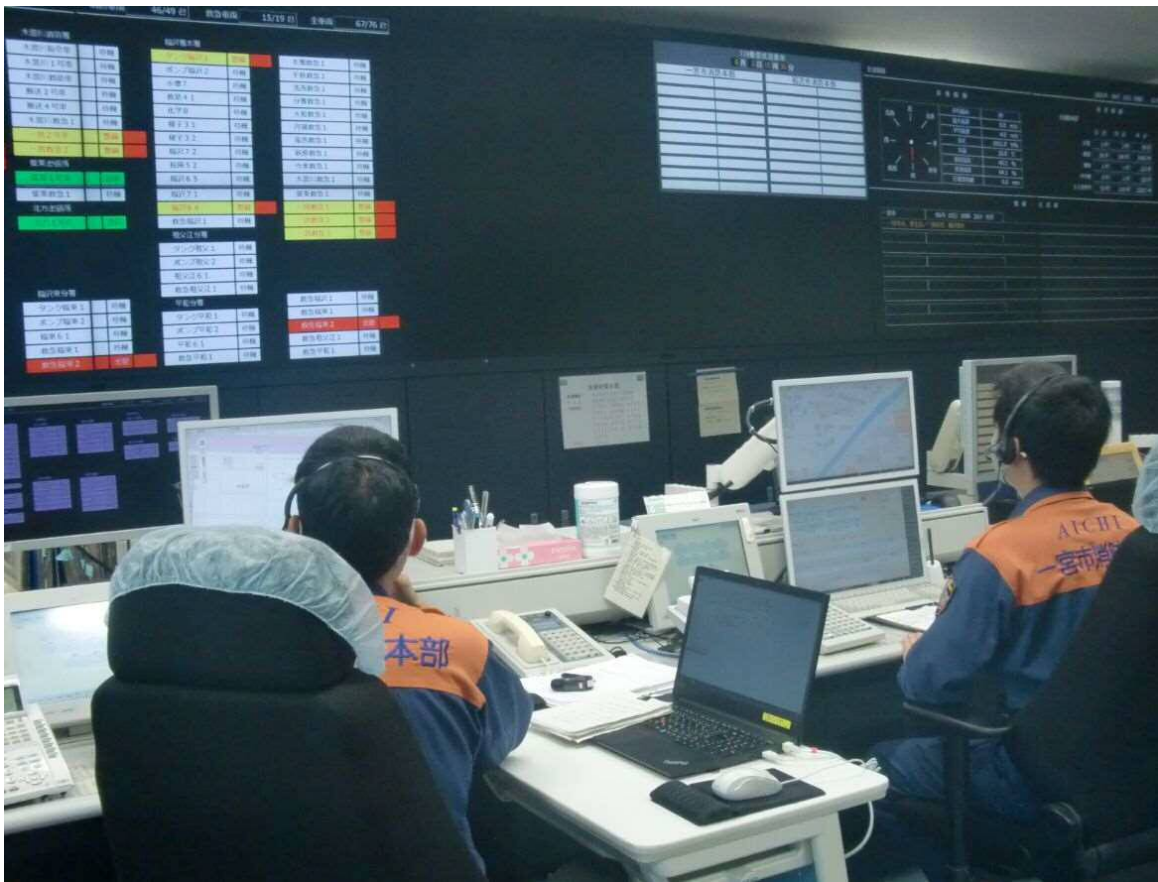


《本署指令車 更新》

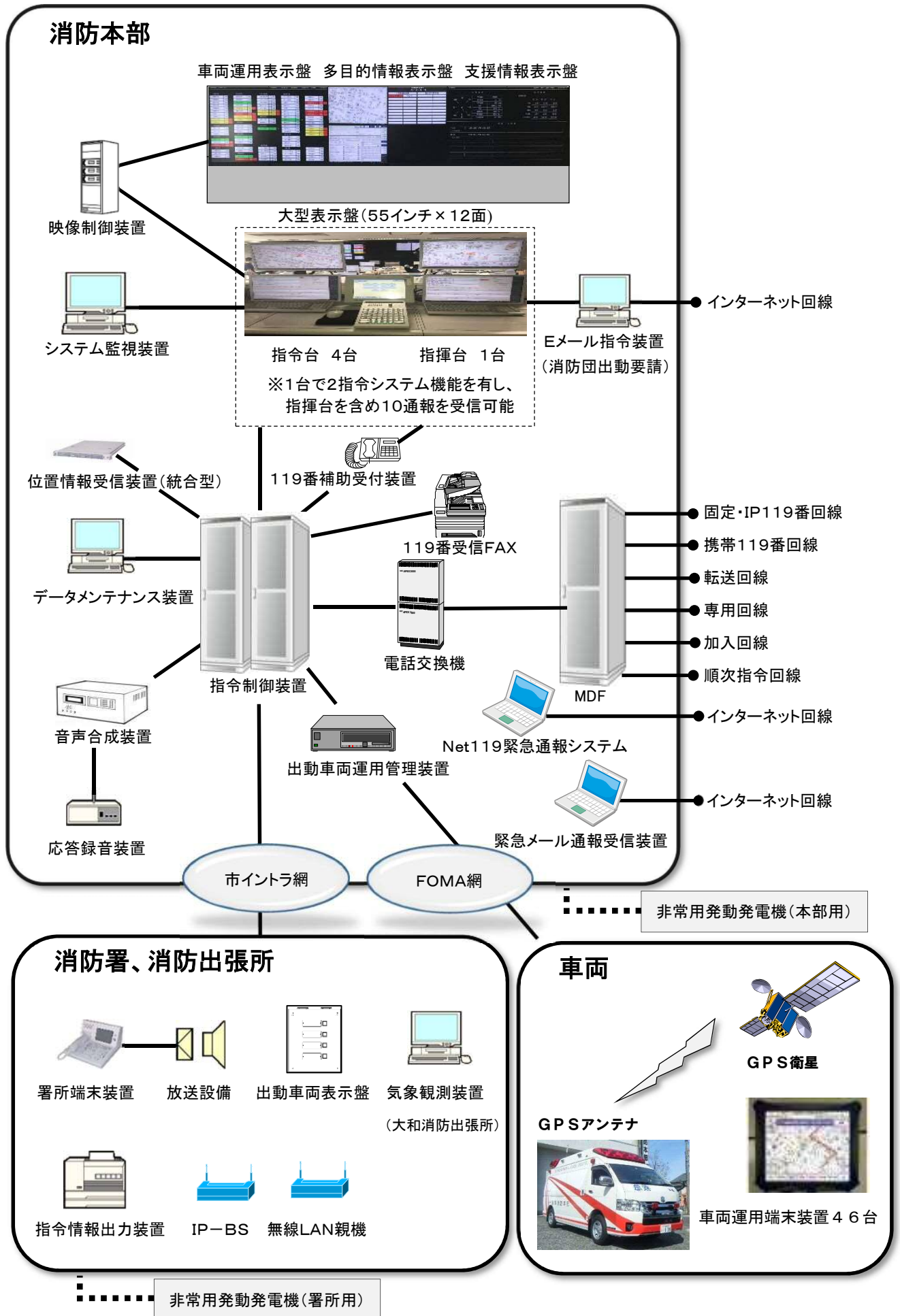
- 大きな災害や特殊な災害が発生した場合に、署長が乗車し出動する車両で、多くの荷物が積載できるように、バンタイプの車両に更新



通信・気象



指令システム構成図



無線設備

消防救急無線(260MHz 帯)

令和3年4月1日現在

種別	出力	実装チャンネル数	局数
基地局	10W	統制波 3 主運用波 1 活動波 6	1
移動局	車載型	10W 統制波 3 主運用波 7 活動波 5	61
	携帯型	5W 統制波 3 主運用波 7 活動波 5	75
	可搬型	10W 統制波 3 主運用波 7 活動波 5	4
	卓上型	10W 統制波 3 主運用波 7 活動波 5	1
			141

署活動系無線(400MHz 帯)

種別	出力	実装チャンネル数	局数
携帯型	1W	署活動波 2 防災相互波 1	30

特定小電力ランシーバー

種別	出力	実装チャンネル数	局数
携帯型	0.01W	47	170

指令回線等一覧表

指令システム

令和3年4月1日現在

項目	名称	回線数	内 訳
1	119番回線(固定電話用)	6	・12ch
2	119番回線(携帯電話用)	4	・8ch
3	指令回線	12	・署所端末装置指令回線:12 一宮消防署本署 尾西消防署 浅井・西成消防出張所 萩原消防出張所 千秋消防出張所 今伊勢・奥消防出張所 一宮消防署分署 木曾川消防署 大和消防出張所 葉栗消防出張所 丹陽消防出張所 北方消防出張所
4	内線回線	6	・PBX内線収容
5	専用回線	4	・中部電力 ・東邦ガス ・中日本高速道路 ・名古屋高速道路
6	転送回線(ISDN)	2	・4ch
7	加入電話(ISDN)	2	・4ch
8	庁内放送回線	1	・庁内放送用
9	音声合成回線	18	・指令用、無線用(兼用):9 ・順次指令用:8 ・災害テレホンサービス用:1

電話回線

項目	名称	回線数	内 訳
1	加入回線(ISDN)	1	・2ch(障害時用)
2	加入回線(アナログ)	4	・FAX用:2 ・FAX兼119番迂回用:1 ・119番迂回用:1
3	携帯電話	42	・救急隊:14、指揮隊:2、警防隊:18、救助隊:3 通信指令課:5
4	加入回線(NTTひかり)	1	・27ch、33番号

月別119番受信状況

令和2年中(単位 件)

種 別	月													
	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
合 計	20,990	1,984	1,708	1,702	1,550	1,526	1,680	1,640	1,962	1,800	1,887	1,702	1,849	
火 災	181	6	8	16	15	8	8	22	23	9	27	24	15	
救 急	15,263	1,541	1,258	1,187	1,089	1,118	1,193	1,191	1,417	1,307	1,344	1,243	1,375	
救 助	135	14	11	12	13	8	7	4	13	14	14	13	12	
その他の害	66	3	4	8	7	5	4	7	6	4	9	4	5	
いたづら	16		1	1	1	3	1	1	4	1		1	2	
間 違 い	1,901	145	147	176	127	136	171	174	204	161	179	143	138	
問 合 せ	922	77	79	85	57	65	74	77	81	64	103	69	91	
病 院 問 合 せ	331	37	24	21	25	28	31	26	46	29	22	26	16	
訓 練 通 報	391	18	24	41	41	13	37	18	13	43	38	59	46	
試 験 通 報	1,459	107	113	112	151	108	135	97	135	142	132	94	133	
そ の 他	34			5		6		8		7		7	1	
転 送	291	36	39	38	24	28	19	15	20	19	19	19	15	

携帯電話からの月別119番受信状況

令和2年中(単位 件)

種別 \ 月	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	9,944	893	812	827	695	727	776	854	990	821	896	798	855
火災	120	5	4	11	11	5	6	12	17	8	17	15	9
救急	7,225	683	587	564	508	526	560	618	703	598	650	588	640
救助	102	9	8	10	9	6	5	2	10	10	13	12	8
その他の害	52	3	4	7	5	4	4	4	5	3	6	3	4
いたづら	7		1		1	2			1			1	1
間違い	1,276	93	105	125	70	87	116	127	146	112	112	89	94
問合せ	590	48	55	54	32	42	44	50	56	39	64	40	66
病院問合せ	216	23	16	15	20	21	19	16	23	20	12	19	12
訓練通報	51	1	2	5	12	3	2	3	1	3	1	9	9
試験通報	48	3	1	7	8	5	4	2	8	6	2	2	
その他	20			3		3		6		4		4	
転送	237	25	29	26	19	23	16	14	20	18	19	16	12

月別気象状況

令和2年中

区分	気温(℃)			風速(m/s)		相対湿度(%)		実効湿度(%)		降水量(mm)
	最低	最高	平均	最大瞬間	平均	最小	平均	最小	平均	
1月	-0.5	17.6	7.2	16.8	1.5	30.2	67.1	59.6	67.2	70.0
2月	-3.5	18.6	6.5	16.7	1.5	22.5	63.9	52.9	64.2	62.0
3月	-0.7	22.6	10.2	15.6	1.7	13.6	63.3	47.3	62.0	123.0
4月	3.9	27.1	12.9	16.0	2.0	12.4	57.9	44.3	59.8	115.5
5月	10.6	31.6	20.3	14.8	1.6	13.6	65.1	52.0	63.9	189.0
6月	17.7	34.2	24.6	14.1	1.4	24.7	72.7	58.3	71.5	251.0
7月	18.7	36.0	25.4	15.0	1.4	44.7	84.8	75.6	84.1	482.0
8月	22.7	38.5	30.2	16.6	1.2	35.0	70.4	65.1	71.0	50.5
9月	15.6	36.0	25.0	16.6	1.4	36.3	77.4	70.5	77.3	299.5
10月	5.9	28.7	17.5	14.8	1.2	22.4	71.9	58.0	72.7	231.5
11月	4.7	24.2	13.3	24.5	1.3	31.9	68.6	59.5	67.9	45.5
12月	-1.0	16.1	6.9	45.0	1.4	26.1	72.4	62.0	71.4	29.5
年間	-3.5	38.5	16.7	45.0	1.5	12.4	69.6	44.3	69.4	1,949.0

(観測地:大和消防出張所)

一宮市の警報・注意報発表基準

発表官署 名古屋地方気象台 令和2年8月6日現在

警報の種類		基準	
大雨	(浸水害)	表面雨量指数基準	23
	(土砂災害)	土壌雨量指数基準	—
洪水	流域雨量指数基準	五条川流域=19.6、青木川流域=11.3、大江用水流域=10 光堂川流域=6.4、野府川流域=6.1	
		五条川流域=(11,19.3)、青木川流域=(17,7.6)、大江用水流域=(21,5.7) 野府川流域=(11,5.4)、日光川流域=(17,14.5)	
	指定河川洪水予報による基準	木曾川中流〔犬山・笠松〕、愛知県日光川水系 日光川〔戸茱・古瀬〕	
暴風	平均風速	20m/s	
暴風雪	平均風速	20m/s 雪を伴う	
大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ10cm	

注意報の種類		基準	
大雨	表面雨量指数基準	13	
	土壌雨量指数基準	127	
洪水	流域雨量指数基準	五条川流域=12.9、青木川流域=5.9、大江用水流域=8 光堂川流域=5.1、野府川流域=4.8	
		五条川流域=(11,12.5)、青木川流域=(11,5.7)、大江用水流域=(7,5.1) 光堂川流域=(9,2.8)、野府川流域=(7,3.6)、木曾川流域=(11,77.5)、日光川流域=(7,9)	
	指定河川洪水予報による基準	木曾川中流〔犬山・笠松〕、愛知県日光川水系 日光川〔戸茱〕	
強風	平均風速	13m/s	
風雪	平均風速	13m/s 雪を伴う	
大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ5cm	
雷	落雷等により被害が予想される場合		
濃霧	視程	100m	
乾燥	最小湿度30%で、実効湿度60%		
低温	冬期:最低気温-4℃以下		
霜	晩霜期に最低気温3℃以下		
着氷・着雪	著しい着氷(着雪)が予想される場合		
記録的短時間大雨情報	1時間雨量	100mm	

※(表面雨量指数,流域雨量指数)の組み合わせによる基準値を表しています。

消防団



消防団の現況

消防団は郷土愛護の精神に基づき、地域に密着した防災活動機関として地震・風水害・火災等の災害時には、市民の生命財産の保護等消防防災活動に当たるとともに、平常時には、火災予防広報、防災指導等に従事し、地域防災上重要な役割を果たしています。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災を機に、大規模災害発生時の消防力の強化が極めて重要な課題となっております。本市においても、平成24年4月1日から大規模災害及び昼間帯の建物火災のみに出動する支援団員制度を導入しました。

令和2年度中における主な活動は、火災出動延べ160回、1,361人、訓練出動延べ1,284回、9,215人でその他、観閲式、警戒警備等に出動し活躍しています。

このように地域防災の中核として広域な活動を任務とする消防団員に対して本市では、災害補償制度、退職報償金制度等の充実を図り、また、教育訓練の充実、若手リーダーの育成等に努めています。

消防団及び消防団員の状況

令和3年4月1日現在

団 数	分 団 数	定 数	消 防 団 員 現 員 数							
			合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 (支 援 団 員)
1	25	605(100)	510(55)	1	4	25	25	25	25	405 (55)

※()内は支援団員数で内数で記載

消防団の活動状況

令和2年度中

区 分	合 計	火 災	訓 練	式 典	警 戒 警 備	水 難 捜 索	風 水 害	点 検
延 出 動 回 数	1,782	160	1,284	26	67			245
延 出 動 人 員	11,987	1,361	9,215	168	758			485

年報酬額

令和3年4月1日現在

階級	基本団員							支援団員
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	団員
金額 (円)	125,000	104,500	72,500	54,000	42,000	40,500	39,000	10,000

費用弁償

令和3年4月1日現在

出動区分	災害出動	訓練等 出動	観閲出動	出初め 出動	警戒出動	年末 警戒出動	機械点検 出動
金額 (円)	2,800 以内	1,700 以内	2,600 以内	2,600 以内	2,200 以内	2,600 以内	2,000 以内

消防団員の退職状況

令和2年度中(単位 人)

退職 団員数	5年 未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年 以上
44	23	9	1	3		3	5

消防団員の新任状況

令和2年度中(単位 人)

新任 団員数	21歳 未満	21歳以上 25歳以下	26歳以上 30歳以下	31歳以上 35歳以下	36歳以上 40歳以下	41歳以上 45歳以下	46歳以上 50歳以下	51歳 以上
31	8	2	3	1	1	7	3	6

消防団員の職業構成と就業形態

令和3年4月1日現在(単位 人)

職業 構 成	公務員等	国家公務員	
		地方公務員	10
		特殊法人等公務員に準ずる職員	18
	その他	482	
合 計			510
就 業 形 態	被雇用者		299
	自営業者		116
	家族従事者		15
	その他		80

消防団員の年齢

令和3年4月1日現在(単位 人)

区分	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員 (支援団員含む)
合計	510	1	4	25	25	25	25	405
20歳未満	5							5
20歳以上 24歳以下	22						1	21
25歳以上 29歳以下	16						1	15
30歳以上 34歳以下	19							19
35歳以上 39歳以下	30				3	2	2	23
40歳以上 44歳以下	68				1	5	7	55
45歳以上 49歳以下	100			5	8	5	7	75
50歳以上 54歳以下	86		1	5	2	7	5	66
55歳以上 59歳以下	69		1	8	4	5	2	49
60歳以上 64歳以下	47	1	1	3	4			38
65歳以上	48		1	4	3	1		39
平均年齢	49.1	63.0	60.8	56.6	53.4	49.2	45.2	48.4

消防団員の勤続年数

令和3年4月1日現在(単位 人)

区 分	合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員 (支援団員含む)
合 計	510	1	4	25	25	25	25	405
5年未満	109					2	6	101
5年以上10年未満	91			1	5	6	6	73
10年以上15年未満	89			4	3	5	7	70
15年以上20年未満	66		1	4	2	6	4	49
20年以上25年未満	67		1	7	9	5	2	43
25年以上30年未満	32		1	3	3	1		24
30年以上35年未満	31			3	3			25
35年以上40年未満	15	1	1	3				10
40年以上45年未満	8							8
45年以上	2							2
平均年数	14.3	37.0	24.8	22.4	19.1	14.0	10.3	13.7

予 防



火災予防普及活動状況

火災発生防止と火災発生時の早期通報、初期消火、避難誘導等一連の初期消火活動が行われるためには、市民一人ひとりの火災予防に対する理解と認識が必要です。そこで市民の火災予防に対する認識を深めるために、春秋の火災予防運動を中心に市広報誌等に火災予防記事の掲載、また、事業所等の消防訓練時に防火管理体制の確立等幅広い広報活動を展開しています。

(上段:実施回数)
令和2年度中(下段:参加人員)

区	分	市 広 報 掲 載	消 防 訓 練	研 講	修 演	会 会	甲 種 防 火 管 理 新 規 講 習
合 計		22	902 38,601			5 143	5 132
4 月		3	34 279				
5 月			39 698				
6 月			92 1,970				
7 月		2	53 1,625				
8 月		4	42 1,541				
9 月		1	101 5,141				
10 月		1	107 4,494			2 89	
11 月		3	140 7,224				新規講習 4 111
12 月		4	85 4,172			1 19	
1 月		1	33 3,335				
2 月		2	55 2,251			1 25	
3 月		1	121 5,871			1 10	再講習 1 21

幼年・少年・婦人消防クラブの現況

令和3年4月1日現在

幼 年 消 防 ク ラ ブ		少 年 消 防 ク ラ ブ		婦 人 消 防 ク ラ ブ	
ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数
87	9,058	42	6,972	9	346

街頭消火器設置状況

令和3年4月1日現在(単位 本)

連 区	設 置 本 数	連 区	設 置 本 数
宮 西	320	今 伊 勢 町	596
貴 船	298	奥 町	352
神 山	418	萩 原 町	495
大 志	251	千 秋 町	457
向 山	271	起	111
富 士	311	小 信 中 島	242
葉 栗	424	三 条	298
西 成	820	大 徳	270
丹 陽 町	610	朝 日	382
浅 井 町	510	開 明	229
北 方 町	254	木 曾 川 町	882
大 和 町	941	合 計	9,742



1.安全栓を抜く



2.ホースを火元に向ける
(ホースの先端を持つ)

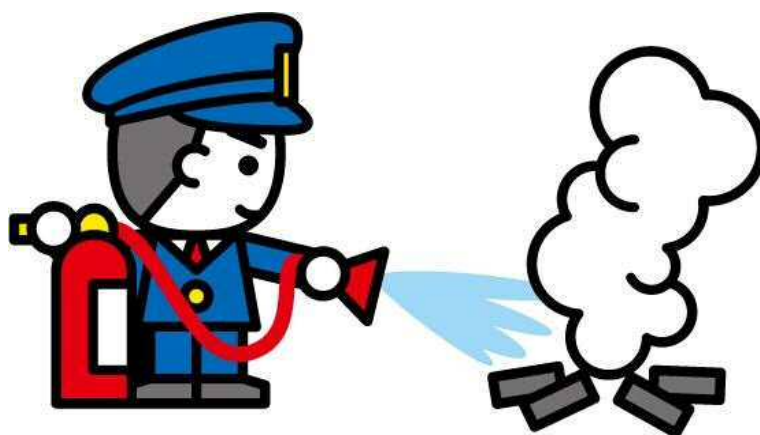


3.レバーを強く握り
放射します

街頭消火器火災使用状況

令和2年度中

区 分	合 計		建物火災		車両火災		その他の火災	
	件数	本数	件数	本数	件数	本数	件数	本数
合 計	7	7	5	5	1	1	1	1
4 月								
5 月								
6 月								
7 月								
8 月	1	1	1	1				
9 月								
10 月	2	2	2	2				
11 月								
12 月								
1 月	1	1			1	1		
2 月	1	1	1	1				
3 月	2	2	1	1			1	1



査察対象物数

令和3年4月1日現在

防火対象物		査察種別	1	2	3	合 計	特 定 防 火 対 象 物	非特定防火対象物
			種	種	種			
合 計			1,333	1,773	1,658	4,764	2,113	2,651
1	イ	映画館・観覧場等	5			5	5	
	ロ	公会堂・集会場	89		81	170	170	
2	イ	キャバレー・カフェ等	2		4	6	6	
	ロ	遊技場・ダンスホール	20			20	20	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	1		8	9	9	
	ニ	カラオケボックス等	13			13	13	
3	イ	待合・料理店	4			4	4	
	ロ	飲食店	64		251	315	315	
4		百貨店・マーケット	229		213	442	442	
5	イ	旅館・ホテル	25			25	25	
	ロ	寄宿舎・共同住宅	1	807	362	1,170		1,170
6	イ	病院・診療所	96		68	164	164	
	ロ	老人短期入所施設等	144			144	144	
	ハ	老人デイサービスセンター・保育所等	159		91	250	250	
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	25		1	26	26	
7		小・中・高・大学校等	15	64	9	88		88
8		図書館等		6		6		6
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場						
	ロ	公衆浴場		4	2	6		6
10		車両停車場・船舶・航空機発着場						
11		神社・寺院・教会		10	43	53		53
12	イ	工場・作業場	38	416	54	508		508
13	イ	自動車車庫・駐車場	12	2		14		14
14		倉庫	41	228	18	287		287
15		官公署・事務所等	15	166	163	344		344
16	イ	特定複合用途防火対象物	328		192	520	520	
	ロ	特定以外の複合用途防火対象物	6	68	98	172		172
17		文化財建造物	1	2		3		3
18		アーケード						

備考

- 1種:定期点検報告を必要とする、又は消火設備(消火器を除く)の設置を必要とする、又は自動火災報知設備の設置を必要とする特定防火対象物並びに5項ロを除く延べ面積5,000平方メートル以上の非特定防火対象物
- 2種:消火設備(消火器を除く)の設置を必要とする、又は自動火災報知設備の設置を必要とする非特定防火対象物(第1種を除く)
- 3種:消防法第8条第1項に定める防火管理者を必要とする防火対象物(上記防火対象物を除く)

中高層建築物数

令和3年4月1日現在

区 分	合 計	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階	12 階	13 階	14 階	15 階	18 階	20 階	21 階
合 計	3,661	2,038	769	323	146	91	107	42	57	32	16	17	10	10	1	1	1
宮 西	266	124	55	25	14	14	12	5	4	5	1		4	3			
貴 船	191	102	37	14	9	6	8	2	7	3	1	1		1			
神 山	431	188	102	21	30	17	23	18	15	4		7	3	3			
大 志	296	156	63	37	14	2	7	1	4		3	3	1	2	1	1	1
向 山	121	68	30	6	4	3	6	1	2	1							
富 士	131	74	24	16	5	4	3		3	1		1					
葉 栗	61	31	20	7		3											
西 成	211	131	44	20	4	3	5	2	2								
丹 陽 町	369	227	86	25	15	2	4	4	2	3	1						
浅 井 町	71	39	13	8	2	2	2	4		1							
北 方 町	31	16	6	3		2	3	1									
大 和 町	410	218	84	45	22	20	12	1	5	2	1						
今伊勢町	182	115	26	11	8	4	3	2	3	4	4	1	1				
奥 町	88	61	13	5	2	1	3		2	1							
萩原町	82	48	15	7	2	3	4		1	2							
千 秋 町	78	49	22	7													
起	23	17	2	1		1	1						1				
小信中島	81	50	9	11	2	2	1		4	1	1						
三 条	125	74	20	17	5	1	3				2	3					
大 徳	66	28	21	10	3		1	1		1	1						
朝 日	44	21	17	5	1												
開 明	68	51	11	3	1				1	1							
木曾川町	235	150	49	19	3	1	6		2	2	1	1		1			

各種届出件数

令和2年度中

区 分	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消 防 計 画 作 成 (変 更) 届	499	49	65	65	24	23	35	34	35	74	32	26	37
防 火 ・ 防 災 管 理 者 選 任 (解 任) 届	531	55	78	47	29	44	33	33	40	70	31	33	38
全体についての消防計画作成(変更)届													
統 括 防 火 ・ 防 災 管 理 者 選 任 (解 任) 届	1				1								
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	135	10	4	10	19	14	14	10	16	12	7	9	10
防 災 管 理 点 検 結 果 報 告 書	14	4	1	2	3		1		1		1	1	
管 理 権 原 者 変 更 届													
自 衛 消 防 組 織 設 置 (変 更) 届	3	1										1	1
ボ イ ラ ー 等 設 置 届	25	2		1	2	1	5	1	3	7	1	1	1
変 電 設 備 設 置 届	44	5	3	1	5	2	4	6	5	2	2	3	6
燃 料 電 池 発 電 設 備 設 置 届													
発 電 設 備 設 置 届	15			1					2	4	4	1	3
蓄 電 池 設 備 設 置 届	12	1	1	4				1	2			2	1
ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届													
火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 ・ た き 火 届	202	6	2	1	3	2	11	16	70	70	13	5	3
煙 火 打 上 げ ・ 仕 掛 け 届	1				1								
溶 接 ・ 溶 断 作 業 届	65	4	6	6	4	4	5	7	9	6	1	4	9
催 物 開 催 届	12	1			1	1	1	1	2	1	1	1	2
水 道 断 ・ 減 水 届													
道 路 工 事 届	2,871	235	189	207	213	263	227	294	235	257	232	256	263
露 店 等 の 開 設 届	15			1	1		1	2	1	2	2		5
圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス 等 貯 蔵 取 扱 開 始 届	87	11	4	4	8	8	8	1	7	14	10	6	6
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届	19			1	2	1	2	1	1	8	1		2
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 廃 止 届	6	1			1	1	1		1		1		
指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届	5	1	1	1					1				1
指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 廃 止 届	1						1						
消 防 用 設 備 等 設 置 届	307	34	21	23	26	18	26	19	15	29	20	20	56
消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書	3,931	414	257	367	244	263	277	452	232	415	278	287	445
消 防 用 設 備 等 着 工 届	286	25	24	16	15	28	23	28	22	34	25	24	22
避 難 ・ 警 報 設 備 着 工 届	195	23	13	11	20	14	21	15	16	14	13	22	13
消 防 用 設 備 等 の 特 例 適 用 願	11	1			1	1	2		2	1	1	1	1
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	219	24	11	10	15	14	26	24	15	23	9	9	39
喫 煙 等 の 禁 止 解 除 申 請	58	15	10	15	7			1		1		4	5
指 定 洞 道 等 届													
消 防 訓 練 実 施 届	964	44	44	97	53	92	99	130	111	70	47	60	117
防 火 防 災 訓 練 実 施 届	7	3			1		1		1	1			

用途別同意建築物数

令和2年度中

防 火 対 象 物		合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合 計		519	44	41	80	51	35	39	34	34	38	32	29	62
1	イ 映画館・観覧場等													
	ロ 公会堂・集会場	3	2					1						
2	イ キャバレー・カフェ等													
	ロ 遊技場・ダンスホール													
	ハ 性風俗関連特殊 営 業 店 舗 等													
	ニ カラオケボックス等													
3	イ 待合・料理店													
	ロ 飲 食 店	3	1						1					1
4	百貨店・マーケット	27	4	3	6		2	2	1	1	2	3	2	1
5	イ 旅館・ホテル													
	ロ 寄宿舎・共同住宅等	36	3	3	4	2	2	6	3	3	3	3	1	3
6	イ 病院・診療所等	13	2	1			1	3	1	1	2			2
	ロ 特定社会福祉施設等	15	2		2	2	1	4	1				1	2
	ハ 社会福祉施設・保育園等	19	1	1	4	2	2			1		3	1	4
	ニ 幼稚園・特別支援学校													
7	小・中・高・大学校等													
8	図 書 館 等													
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場													
	ロ 公 衆 浴 場													
10	車 両 の 停 車 場 等													
11	神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	10	1		1	1	2	1		1				3
12	イ 工 場 ・ 作 業 場	20	1	2	2	2	1	3		1	3	3	1	1
13	イ 自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	13		1		1		2	1	1	1	2	3	1
14	倉 庫	38	6	4	4	3	3	3		3	4	3		5
15	官 公 署 ・ 事 務 所 等	89	5	2	38	5	4	5	6	6	4		5	9
16	イ 特定複合用途防火対象物	12	1	1	3	2	1		1				1	2
	ロ 特定以外の複合用途 防 火 対 象 物	5		1		1	1			1				1
専 用 住 宅		216	15	22	16	30	15	9	19	15	19	15	14	27

危険物施設数

令和3年4月1日現在

区 分	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	セ ル フ 給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	販 売 取 扱 所
合 計	414	3	261	57	40	28	86		46	4	150	110	36	39	1
宮 西	9		4	2			2				5	2		2	1
貴 船	8		4		2		2				4	3	2	1	
神 山	20		17	1	4	1	2		9		3	1		2	
大 志	3		2				2				1			1	
向 山	13		9	1			3		4	1	4	3	1	1	
富 士	6		2				2				4	3	1	1	
葉 栗	11		6		1		4			1	5	5	2		
西 成	45		32	2	8		6		16		13	12	4	1	
丹 陽 町	41		26	8	1	1	12		4		15	12	5	3	
浅 井 町	15		9	2	1	2	4				6	3	2	3	
北 方 町	19	3	11	1	3		6			1	5	2		3	
大 和 町	29		15	3		2	9			1	14	10	5	4	
今 伊 勢 町	10		8	3	1	2	2				2	1	1	1	
奥 町	14		11	2		4	5				3	2	1	1	
菰 原 町	31		14	6	1	1	2		4		17	15	1	2	
千 秋 町	14		6	1		2	3				8	8	2		
起	2		1			1					1	1			
小 信 中 島	4		3	1	1	1					1	1	1		
三 条	9		3	1			2				6	5	3	1	
大 徳	6		6			2	3		1						
朝 日	54		39	15	10	3	8		3		15	5		10	
開 明	18		15	5		4	5		1		3	2	1	1	
木 曾 川 町	33		18	3	7	2	2		4		15	14	4	1	

指定数量の倍数・類別危険物施設数

令和3年4月1日現在

区分	合計	製造所	貯蔵所								取扱所						
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	セルフレーフ給油取扱所	一般取扱所	販売取扱所		
許可施設数	414	3	261	57	40	28	86		46	4	150	110	36	39	1		
倍数別	5倍以下	139		122	24	8	18	39		32	1	17			16	1	
	5倍を超え 10倍以下	83	1	63	17	10	10	23			3	19	6		13		
	10倍を超え 50倍以下	105	1	55	14	20		18		3		49	41		8		
	50倍を超え 100倍以下	22	1	18	2	1		4		11		3	2		1		
	100倍を超え 150倍以下	5		1				1				4	4				
	150倍を超え 200倍以下	15		1		1						14	14	1			
	200倍を超え 1,000倍以下	45		1				1				44	43	35	1		
	1,000を超え 5,000倍以下																
	5,000倍を超え 10,000倍以下																
	10,000倍を超えるもの																
類別	第1類																
	第2類																
	第3類																
	第4類	411	3	258	54	40	28	86		46	4	150	110	36	39	1	
	第5類	1		1	1												
	第6類																
	混在	2		2	2												

危険物施設の設置・変更許可等

令和2年度中

区分	合計	貯蔵所								取扱所				
		小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	セルフ給油取扱所	一般取扱所	販売取扱所
許可	3	1	1							2	1		1	
変更	38	1	2	1				1		35	21	11	14	
仮使用承認	33	1	1	1						31	18	11	13	
完成検査	3	1	1							2	1		1	
変更	38	1	2	1				1		35	20	10	15	
仮貯蔵・仮取扱承認	8													

タンク検査状況

令和2年度中

検査区分	容量	件数	小計	合計
水張検査	1万リットル以下のタンク			1
	1万リットルを超え、5万リットル以下のタンク			
	5万リットルを超え、10万リットル以下のタンク			
	10万リットルを超えるタンク			
水圧検査	1万リットル以下のタンク	1	1	
	1万リットルを超え、5万リットル以下のタンク			
	5万リットルを超え、10万リットル以下のタンク			
	10万リットルを超えるタンク			

危険物施設届出等状況

令和2年度中

合計	予防規程制定・変更認可申請	譲渡引渡	品名・数量・倍数変更届	廃止届	変更届	事故発生届	休止・再開届	許可書等再交付申請	設置・変更取りやめ届	設置・変更許可申請取下書	保安監督者選任・解任届	資料提出書	火気使用届	軽微工事届	地下貯蔵タンク等に関する計画届
194	4	1	7	12	43	7					24	51	1	44	

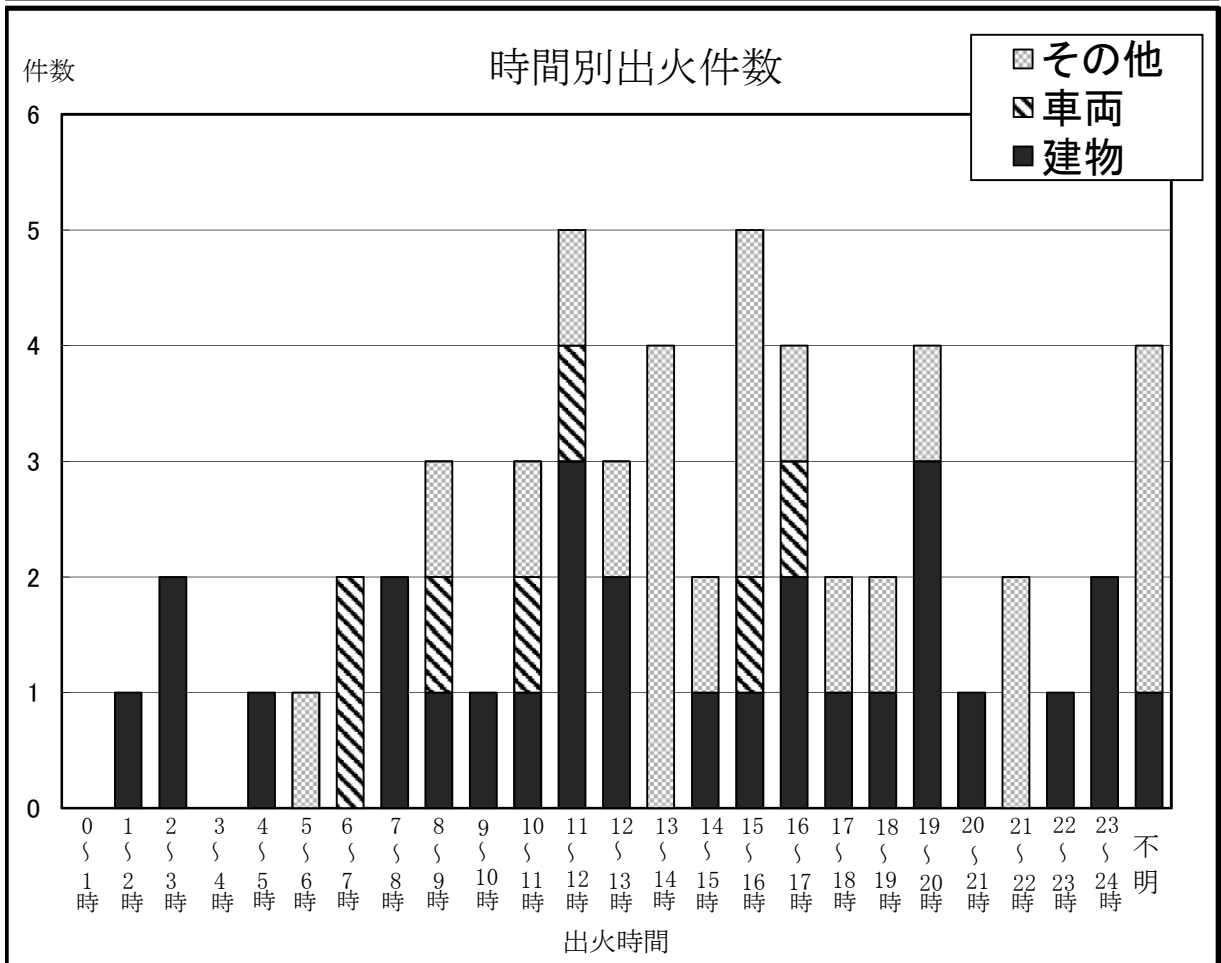
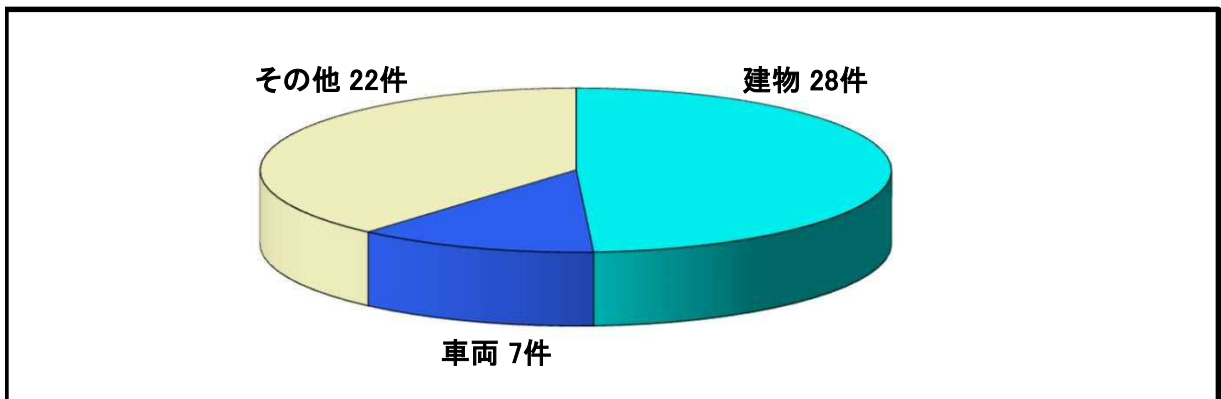
火災



火災の概況

令和2年中

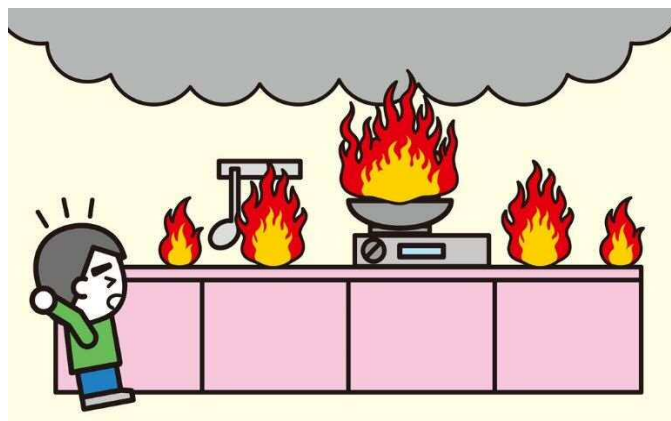
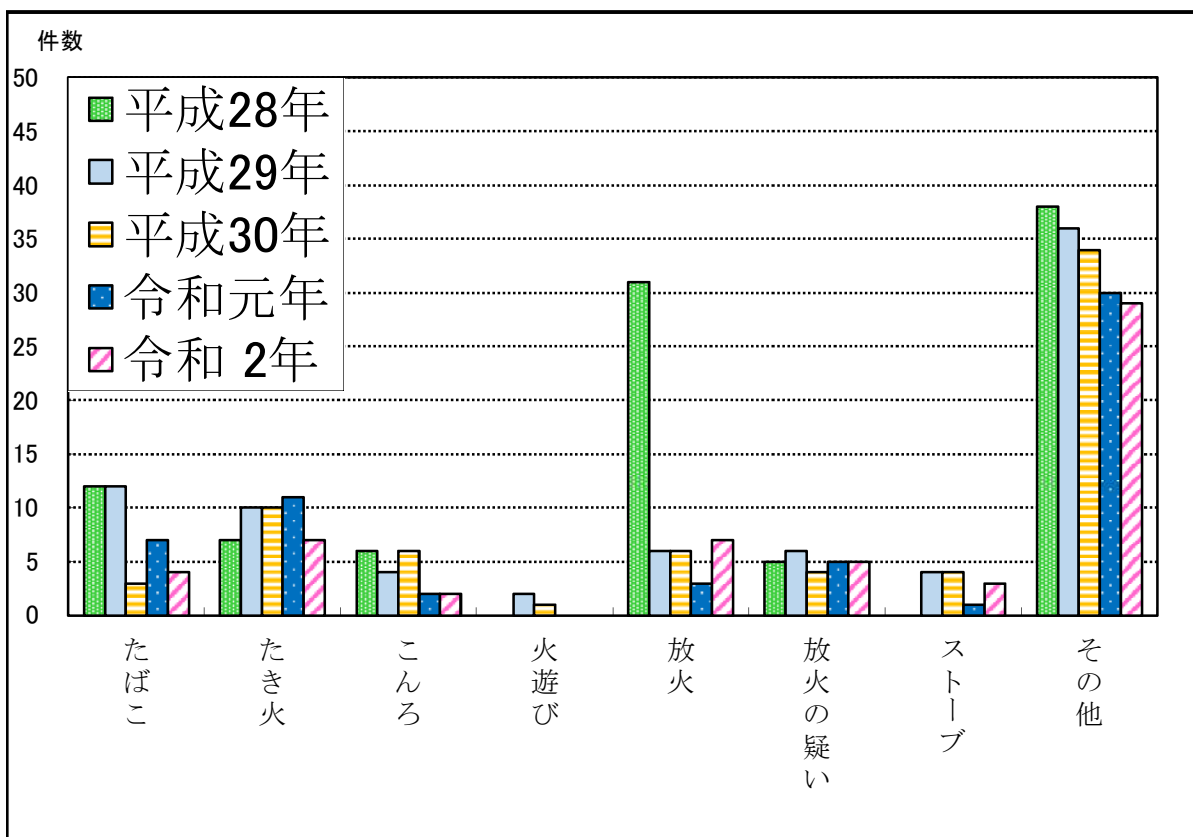
火災種別件数				焼損棟数 (棟)	り災 世帯数 (世帯)	死者 (人)	負傷者 (人)	建物焼損 床面積 (㎡)	建物焼損 表面積 (㎡)	その他 (㎡)	損害額 (千円)
合計	建物	車両	その他								
57	28	7	22	62	67	2	8	4,720	179	2,739	792,224



出火原因

(単位 件)

区分	合計	たばこ	たき火	こんろ	火遊び	放火	放火の疑い	ストーブ	その他
平成28年	99	12	7	6		31	5		38
平成29年	80	12	10	4	2	6	6	4	36
平成30年	68	3	10	6	1	6	4	4	34
令和元年	59	7	11	2		3	5	1	30
令和 2年	57	4	7	2		7	5	3	29



建物用途別・原因別件数

令和2年中

区分	合計	住宅火災				店舗	工場・作業場	飲食店	その他
		計	一般住宅	共同住宅	併用住宅				
合計	57	15	10	4	1	1	5		36
たばこ	4	3	3						1
こんろ	2	2	1	1					
風呂かまど									
ストーブ	3	2		1	1		1		
電気機器	1								1
電灯・電話等の配線									
火あそび									
たき火	7								7
放火	7					1			6
放火の疑い	5	2	1	1					3
その他	15						3		12
不明	13	6	5	1			1		6

連区・月別の火災件数

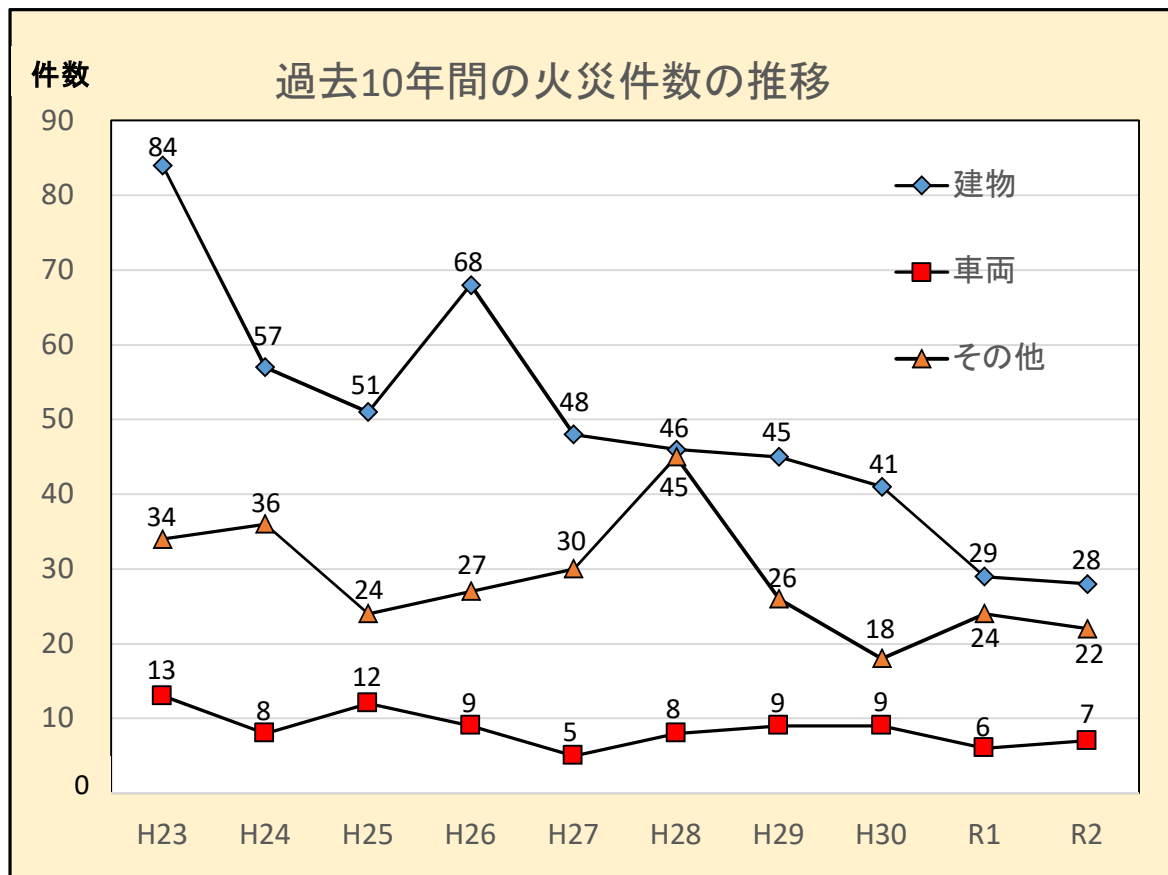
区 分	種 別 件 数					り 災 棟 数				り 災 世 帯			
	合 計	建 物		車 両	そ の 他	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 損	半 損	小 損	り 災 人 員
		延 焼	不 延 焼										
合 計	57	10	18	7	22	14	2	17	29	16	1	50	149
宮 西	1			1									
貴 船													
神 山													
大 志	1		1						1			1	4
向 山	1		1						1			1	1
富 士	2	1	1					1	1	1		8	24
葉 栗	5	2		1	2	2			2			2	6
西 成	3	1	1		1	2		1	2	1		2	7
丹 陽 町	8	2	1	2	3	5	2	5	8	11		22	61
浅 井 町	1				1								
北 方 町	5		1		4			1				1	2
大 和 町	2		1		1				1			1	1
今 伊 勢 町	3		2		1			1	1				
奥 町	1			1									
萩 原 町	1				1								
千 秋 町	6	1	1	1	3	1		3	1	2		2	7
起													
小 信 中 島													
三 条	1		1						1			1	3
大 徳	3	1			2	2			3	1		2	8
朝 日	4	1	3			2		4	2			3	7
開 明	5		3	1	1				3			2	4
木 曾 川 町	4	1	1		2			1	2		1	2	14
1 月	4		3		1			1	2			3	7
2 月	5		1		4				1				
3 月	4		1		3			1					
4 月	7	1	1	1	4	1			2			1	1
5 月	2				2								
6 月	5	1	2		2	2		4	1			4	8
7 月	3	1	1	1		1	2	3	6	6		13	36
8 月	6	2	1		3	2		1	4	1		4	15
9 月	2	1		1				1		1		8	24
10 月	6	1	2	2	1	4		1	5	5		9	25
11 月	7	2	3	2		2		5	2	2	1	4	21
12 月	6	1	3		2	2			6	1		4	12

令和2年中

死傷者		焼損面積(m ²)			損害額(千円)						火災一件当たりの損害額(千円)
死者	傷者	床面積	表面積	その他	合計	建物	収容物	車両	その他	爆発	
2	8	4,720	179	2,739	792,224	253,585	531,969	3,242	3,428		13,899
					61		61				61
					4	1	3				4
		58			8,137	7,347	790				4,069
		2,847	24	39	662,367	144,776	517,409	158	24		132,473
		282	20	20	1,909	1,722	85		102		636
1	2	1,216	72	336	83,418	67,355	10,542	2,430	3,091		10,427
				25							
			4	7	147	16	131				29
	1		1		105	10	95				53
			4	315	103	60	1		42		1
					97			97			97
				560	50				50		50
	1	90	39	1,272	26,642	25,736	866	40			4,440
			1		8	8					8
1	1	163	1	163	3,026	2,117	805	97	7		1,009
	1	34	11		3,671	2,444	913	252	62		918
	1		1	1	182	12	2	168			36
	1	30	1	1	2,297	1,981	266		50		574
				4	262	17	195		50		66
				780	21				21		4
		5		321	54	51			3		14
	1	35	24	481	41	37	2	1	1		6
				487							
	1	29	12	560	5,942	2,403	175	252	3,112		1,188
1	2	750	8	10	59,509	53,493	5,788	192	36		19,836
		3,092	21	26	664,075	146,468	517,492		115		110,679
		58			10,523	7,347	787	2,389			5,262
	1	466	63	4	19,695	13,852	5,496	311	36		3,283
	2	122	44		29,064	27,782	1,133	97	52		4,152
1	1	163	3	70	3,038	2,135	901		2		506

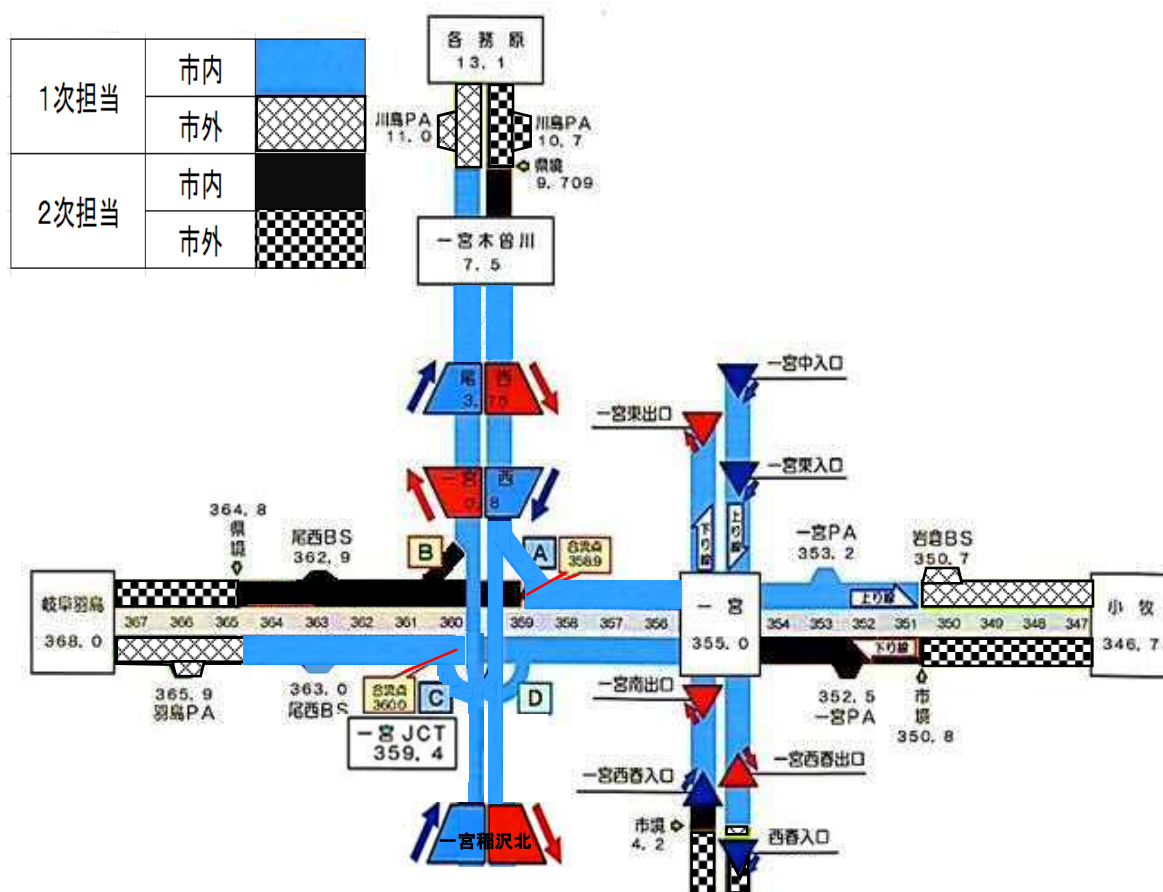
過去10年間の火災発生件数

区分	火災件数				焼損床面積 (㎡)	死傷者		損害額 (千円)
	合計	建物	車両	その他		死者	傷者	
平成23年	131	84	13	34	2,616	7	15	162,609
平成24年	101	57	8	36	1,818	2	20	116,025
平成25年	87	51	12	24	3,307	3	6	201,673
平成26年	104	68	9	27	4,255	5	13	248,407
平成27年	83	48	5	30	1,800	5	9	87,236
平成28年	99	46	8	45	814	3	16	55,087
平成29年	80	45	9	26	1,574	2	13	96,788
平成30年	68	41	9	18	2,579	4	10	365,878
平成元年	59	29	6	24	1,993	1	8	196,002
令和 2年	57	28	7	22	4,720	2	8	792,224



高速道路の火災

令和3年3月28日に東海北陸自動車道一宮稲沢北インターチェンジが開通し、本市の高速道路における担当区域は、下図に示すとおりとなりました。



<過去10年間の出動件数>

区分	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
計	2	1(1)	1	2(1)	1	4(3)	2(1)	2	2(1)	2
車両	2		1	2(1)	1	4(3)	2(1)	2	2(1)	2
その他		1(1)								

※()内は管轄外出動で内数で記載

警 防



消防車両の配置状況

消防本部・消防署

令和3年4月1日現在

区 分		車 両			
一 宮 消 防 署	本 部 ・ 本 署	指令車	2台	救助工作車	1台
		指揮車	1台	救助資機材搬送車	1台
		水槽付消防ポンプ自動車	3台	高規格救急自動車	2台
		はしご付消防自動車	1台	広報車	9台
		支援車	1台	搬送車	1台
	浅井・西成消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台
		消防ポンプ自動車	1台		
	千 秋 消 防 出 張 所	水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台
		消防ポンプ自動車	1台		
	分 署	大 和 消 防 出 張 所	指令車	1台	広報車
水槽付消防ポンプ自動車			1台	搬送車	1台
高規格救急自動車			1台		
丹 陽 消 防 出 張 所		水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台
尾 西 消 防 署	尾 西 消 防 署	指令車	1台	はしご付消防自動車	1台
		指揮車	1台	高規格救急自動車	2台
		水槽付消防ポンプ自動車	2台	広報車	3台
		化学消防ポンプ自動車	1台	搬送車	1台
	萩原消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台
		消防ポンプ自動車	1台		
	今伊勢・奥消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台
		消防ポンプ自動車	1台		
木 曾 川 消 防 署	木 曾 川 消 防 署	指令車	1台	高規格救急自動車	2台
		水槽付消防ポンプ自動車	2台	広報車	2台
		救助工作車	1台	搬送車	1台
	葉 栗 消 防 出 張 所	水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台
北 方 消 防 出 張 所	水槽付消防ポンプ自動車	1台			

災害種別の出動状況

令和2年中

区 分		出動件数(件)	出動車両数(台)	出動人員(人)
合 計(1)+(2)+(3)		3,327	3,940	14,602
小 計(1)		57	393	1,421
火 災	建 物 火 災	28	262	943
	高 層 火 災			
	車 両 火 災	5	10	37
	そ の 他 の 火 災	22	112	410
	地 下 火 災			
	特 殊 車 両 火 災			
	航 空 機 火 災			
	指 定 建 物 火 災			
	危 険 物 施 設 火 災			
	高速自動車道	車 両 火 災	1	1
特殊車両火災		1	8	28
その他の火災				
小 計(2)		85	156	580
警 戒	特 別 ガ ス 漏 れ			
	ガ ス 漏 れ	12	49	190
	怪 煙	11	22	84
	漏 油	46	48	169
	火 災 警 戒	6	18	68
	そ の 他	10	19	69
小 計(3)		3,185	3,391	12,601
焼 損 事 故		18	67	248
誤 報		26	178	656
虚 報				
応 援 (火 災 ・ 警 戒)		2	2	8
救 急 支 援		3,139	3,144	11,689

月別庁外業務活動状況

令和2年中

業務種別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
合計	31,671	2,863	2,603	2,442	2,425	2,566	2,477	2,332	3,186	2,667	2,671	2,633	2,806	
災害 出 動	火災出動	56	4	4	4	7	2	5	3	6	2	6	7	6
	救急出動	16,361	1,662	1,367	1,279	1,158	1,195	1,269	1,270	1,539	1,382	1,450	1,320	1,470
	救急支援	3,139	328	253	248	258	218	228	227	278	262	257	250	332
	救助出動	178	17	14	12	15	10	10	8	23	15	19	14	21
	警戒出動	85	7	7	13	2	3	7	11	6	7	7	8	7
	捜索活動													
	応援出動	2									1	1		
	誤報等出動	26	2	2	2	3	3		4	2	2	1	3	2
焼 損 事 故	18	2	2	1	2	1	5	1			3		1	
火 災 調 査	57	4	5	4	7	2	5	3	6	2	6	7	6	
演 習 ・ 訓 練	署所訓練	7,920	519	548	548	760	875	802	627	640	706	670	624	601
	全署訓練	24	2	1	1	2	1		2	2	4	3	6	
	合同訓練	5	1		4									
広 報 ・ 指 導	消火器取扱 訓	8	2	4									2	
	予防広報	829		24	101				29	523	69		83	
	そ の 他	15	2	1	2						1	2	2	5
特 別 警 戒	警戒巡回	31		1						21	2	4	3	
	行催事警戒													
警 防 調 査	消防水利 調 査	491	27	57	23	56	98	49	34	36	31	14	24	42
	防火井戸 性能試験	181			85	77		16		3				
	空地等調査	259	83	24	23							46	56	27
	広聴調査	390	27	26	18	25	45	24	37	31	32	41	41	43
	対象物調査	20	4	9	3	1		1		1	1			
	そ の 他	13	1		1	1			1	2	2	3		2
予 防 査 察	753	104	176	24			3	18	27	72	60	104	165	
そ の 他	街頭消火器 点 検	424	32	51	34	23	38	41	32	22	34	31	44	42
	消防防災 施設点検	221	24	13	11	14	15	12	17	12	31	36	13	23
	救命講習・ 救急法指導	65	8	12					2	3	6	5	20	9
	消防団訓練 指 導	22	1	2	1	2			4	2	3	3	2	2
	そ の 他	78				12	60		2	1		3		

消防活動用資器材の配置

令和3年4月1日現在

	区 分	合 計	配 置 場 所													
			本 署	浅井・西成	千 秋	分 署	大 和	丹 陽	尾 西	萩 原	今伊勢・奥	木曾川	北 方	葉 栗		
一 般 救 助 器 具	かぎ付はしご	4	2							1		1				
	三連はしご	21	4	2	1	1	1	1	1	3	1	2	3	1	1	
	金属製折りたたみはしご 又はワイヤーはしご	5			1		1	1		1			1			
	空気式救助マット	2	1										1			
	救命索発射銃	2	1										1			
	サバイバースリング 又は救助用縛帯	39	12	2	2	2	1	2	4	2	2	2	7	2	1	
	平担架	4	1								2			1		
	滑車	41	20											21		
重 量 物 排 除 器 具	油圧ジャッキ	16	2	2	2	1	1	1		1	2	2	2	1	1	
	油圧スプレッダ(大型含む)	5	1		1			1					1		1	
	マンホール救助器具	2	1										1			
	救助用支柱器具一式	1	1													
	可搬ウインチ	5	2		1								2			
	マット型空気ジャッキ一式	2	1										1			
破 壊 ・ 切 断 器 具	エンジンカッター	11	2		1	1		1	1		1	2	1	1		
	油圧切断機(大型含む)	7	2		1			1				2		1		
	空気鋸	3	2									1				
	空気切断機	4	2									2				
	ガス溶断器	2	1									1				
	チェーンソー	2	1									1				
	鉄線鋏(カッター)	37	6	3	3	2	3	3	4	3	3	4	1	2		
	万能斧	45	10	4	3	2	3	4	5	2	3	6	1	2		
	携帯用コンクリート破壊器具	2	1										1			
	削岩機	3	1						1			1				
ハンマドリル	4	2						1			1					
検 知 器 ・ 測 定 器	放射線測定器	8	6						1			1				
	可燃性ガス測定器	24	5	2	2	1	1	1	3	2	2	3	1	1		
	有毒ガス測定器	2	1									1				
隊 員 保 護 器 具 (N B C 対 策)	防毒マスク	20	15									5				
	化学防護服	30	15						10			5				
	陽圧式化学防護服	10	5									5				
	ポケット線量計	31	15						3			13				
	放射線防護服	6	3									3				
	除染シャワー	2	1									1				

	区 分	合 計	配 置 場 所											
			本 署	浅 井・ 西成	千 秋	分 署	大 和	丹 陽	尾 西	萩 原	今 伊勢・ 奥	木 曾 川	北 方	葉 栗
水 難 器 具	潜 水 器 具 一 式	10										10		
	救 命 胴 衣	305	65	16	12	24	12	16	42	16	16	58	12	16
	水 中 投 光 器	10										10		
	救 命 浮 環	41	7	3	3	2	2	2	7	3	3	6	1	2
	浮 標	6							1			5		
	救 命 ボ ー ト	32	6	2	1	3	1	2	4	2	2	5	2	2
	船 外 機	8	2						3			3		
呼 吸 保 護 器 具	空 気 呼 吸 器	102	21	8	8	4	4	4	16	8	8	13	4	4
	防 塵 マ ス ク	119	24	9	7	5	4	4	34	7	9	8	4	4
	送 排 風 機	2	1									1		
	酸 素 呼 吸 器	10	5									5		
	簡 易 呼 吸 器	5	2									3		
	安 全 帯	25	18						3			4		
隊 員 保 護 器 具	防 塵 メ ガ ネ	81	9	11	3	5	5	6	6	10	8	11	4	3
	耐 電 手 袋	18	7		1			1	3			5		1
	耐 電 衣	4	2									2		
	耐 電 ズ ボ ン	4	2									2		
	耐 電 長 靴	8	4						2			2		
	携 帯 警 報 器	101	20	8	8	4	4	4	16	8	8	13	4	4
	耐 熱 服	8							5			3		
そ の 他 ・ 山 岳 救 助 器 具	投 光 器 一 式	24	5	2	2	1	1	1	4	2	1	3	1	1
	携 帯 投 光 器	116	25	10	8	9	8	3	18	4	8	13	3	7
	強 力 携 帯 型 HID サ ー チ ラ イ ト	24	6	2	1	1	1	1	4	2	2	2	1	1
	携 帯 無 線 機	70	15	4	4	5	3	3	14	4	4	9	2	3
	特 定 小 電 力 ト ラ ン シ ー バ ー	164	45	11	11	7	7	7	25	11	11	18	4	7
	緩 降 機	1	1											
	バ ス ケ ッ ト 担 架	4	2						1			1		
	応 急 処 置 用 セ ッ ト	31	5	3	2	2	2	2	4	2	2	4	1	2
	簡 易 画 像 探 索 機	2	1									1		
	加 圧 排 煙 機	2	1									1		
	エ ア ー テ ン ト	4	2						1			1		
高 度 救 助 器 具	画 像 探 索 機	1	1											
	地 中 音 響 探 知 機	1	1											
	熱 画 像 直 視 装 置	3	2						1					
	夜 間 用 暗 視 装 置	1	1											
	地 震 警 報 器	1	1											

消防水利の現況

令和3年4月1日現在

区 分	合 計	公 設						私 設				そ の 他				
		小 計	消 火 栓	防 火 井 戸	防 火 水 槽			小 計	消 火 栓	防 火 井 戸	防 火 水 槽		小 計	プ ール	貯 水 池	そ の 他
					40 ³ m ³ 未 満	40 ³ ~ 100 ³ m ³ 未 満	100 ³ m ³ 以 上				40 ³ ~ 100 ³ m ³ 未 満	100 ³ m ³ 以 上				
合 計	5,171	5,036	4,053	602	5	355	21	52		4	36	12	83	78	2	3
	3,614	3,566	3,019	167	4	355	21	48			36	12				
宮 西	152	148	133	5	1	6	3	1			1		3	3		
	121	120	110	1		6	3	1			1					
貴 船	133	131	128	1		1	1	1			1		1	1		
	118	117	114	1		1	1	1			1					
神 山	193	188	168	11		7	2	2			2		3	3		
	166	164	155			7	2	2			2					
大 志	97	96	88	1		4	3						1	1		
	94	94	87			4	3									
向 山	103	100	90	7		3							3	3		
	81	81	72	6		3										
富 士	154	150	139	6		4	1	3			3		1	1		
	137	134	128	1		4	1	3			3					
葉 栗	283	275	219	36		20		3			1	2	5	5		
	219	216	175	21		20		3			1	2				
西 成	493	482	379	53	1	48	1	1			1		10	10		
	382	381	302	29	1	48	1	1			1					
丹 陽 町	383	375	340	26		9		3			3		5	4	1	
	259	256	240	7		9		3			3					
浅 井 町	270	265	200	37		27	1	1			1		4	4		
	200	199	158	13		27	1	1			1					
北 方 町	151	149	111	8	1	29							2	2		
	120	120	90		1	29										
大 和 町	464	449	359	51		37	2	8		1	6	1	7	7		
	325	318	263	16		37	2	7			6	1				
今伊勢町	194	183	150	20	1	12		7			4	3	4	3	1	
	133	126	106	7	1	12		7			4	3				
奥 町	142	134	110	7		16	1	3			3		5	2		3
	70	67	50			16	1	3			3					
萩 原 町	342	336	265	55		15	1	2		1		1	4	4		
	222	221	198	7		15	1	1			1					
千 秋 町	309	299	243	31		25		3		2	1		7	7		
	244	243	191	27		25		1			1					
起	61	59	43	13		2	1	1				1	1	1		
	34	33	30			2	1	1				1				
小信中島	131	129	92	34		2	1						2	2		
	60	60	52	5		2	1									
三 条	183	179	127	45		4	3	2				2	2	2		
	93	91	84			4	3	2				2				
大 徳	127	124	95	26		3		1				1	2	2		
	52	51	43	5		3		1				1				
朝 日	328	324	235	84		5							4	4		
	109	109	97	7		5										
開 明	119	115	94	19		2		1			1		3	3		
	76	75	67	6		2		1			1					
木曾川町	359	346	245	26	1	74		9			8	1	4	4		
	299	290	207	8	1	74		9			8	1				

(備考) 下段は消防水利基準に該当するもの

応援協力計画

大規模な災害または特殊な災害が発生し、本市の消防力だけでは対処不可能な場合には関係協力機関に応援協力を要請し、消防隊の効率的な運用によりの確な災害活動を行い、被害を最小限に防止するため一宮市消防本部は、様々な応援協定等を締結しています。

令和3年4月1日現在

応援協定等	
1	大規模災害消防応援実施計画
2	愛知県内広域消防相互応援協定
3	愛知県消防広域応援基本計画
4	愛知県消防活動等援助要綱
5	愛知県緊急消防援助隊受援計画
6	愛知県下高速道路における消防相互応援協定
7	高速道路における消防相互応援協定(名神)
8	高速道路における消防相互応援協定(東海北陸)
9	愛知県防災ヘリコプター支援協定
10	愛知県防災ヘリコプター緊急運航要領
11	ドクターヘリ運航要領
12	尾張西北部地区消防相互応援協定
13	木曽川流域消防相互応援協定
14	大規模特殊災害時における広域航空消防応援実施要綱
15	消防相互応援協定(岐阜県各務原市)
16	航空事故に伴う災害発生時の連絡調整に関する協定
17	航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した場合の連絡調整に関する協定
18	災害活動の協力に関する協定
19	都市ガス災害対策に関する業務協約
20	LPガス災害対策に関する業務協約
21	災害時における消防用水等の確保に関する協定



緊急消防援助隊の概要

・緊急消防援助隊は、平成7年1月17日の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害時における人命救助活動等を、迅速かつ効果的に実施し得るよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築するため、全国の消防本部に協力を得て平成7年6月に創設されたものであり、一宮市消防本部は、消火小隊6隊、救助小隊1隊、救急小隊2隊、その他の特殊装備小隊(はしご自動車)2隊、後方支援小隊1隊が登録されています。(令和3年4月1日現在)



・消防組織法第50条の規定に基づく無償使用制度により高機能救命ボートが配備され、令和3年7月1日から運用を開始しました。(令和2年度総務省消防庁予算)大規模風水害による冠水地域等へ出動します。

緊急消防援助隊の派遣実績

【平成16年 福井豪雨】

・平成16年7月17日から18日にかけて発生した豪雨により、福井県全域に被害が出たため、平成16年7月18日から19日までの間、緊急消防援助隊愛知県大隊として福井県に派遣隊1隊(5名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第1次隊	7/18～7/19	消火小隊	5名	福井県福井市西木田地区で検索救護

【平成23年 東日本大震災】

・平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の津波の影響により、東北地方各地に被害が出たため、平成23年3月12日から4月24日までの間に、緊急消防援助隊愛知県大隊として宮城県に派遣隊29隊(103名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第2次隊	3/12～3/15	消火小隊 救助小隊 後方支援小隊	12名	宮城県亶理郡亶理町及び山元町で搜索
第3次隊	3/13～3/16	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町及び山元町で搜索
第5次隊	3/17～3/22	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町及び山元町で搜索
第6次隊	3/20～3/25	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第7次隊	3/23～3/28	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第8次隊	3/26～3/30	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第9次隊	3/29～4/3	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第10次隊	4/1～4/6	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索

第11次隊	4/4～4/9	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で捜索
第12次隊	4/7～4/12	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で捜索
第13次隊	4/10～4/15	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で捜索
第14次隊	4/13～4/18	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で捜索
第15次隊	4/16～4/21	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で捜索
第16次隊	4/19～4/24	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で捜索

第1・4次隊の派遣については、本市消防本部該当なし

【平成26年 御嶽山噴火災害】

・平成26年9月27日に発生した御嶽山噴火に伴う救助活動のため、緊急消防援助隊愛知県大隊として長野県王滝村に派遣隊3隊(15名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第11次隊	10/4～10/7	救助小隊	5名	活動拠点にて捜索についての情報収集 御岳剣ヶ峰山荘売店付近の捜索
第20次隊	10/11～10/12	救助小隊	5名	御嶽神社頂上奥社及び頂上山荘周辺の捜索
第24次隊	10/16～10/17	救助小隊	5名	派遣期間中に捜索中止が決定

※ 第11・20・24次隊以外の派遣については、本市消防本部該当なし

【平成30年 7月豪雨】

・平成30年6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心とした全国的に広範囲な集中豪雨が発生、河川の氾濫や浸水害のため、緊急消防援助隊愛知県大隊として岡山県倉敷市真備町に派遣隊2隊(8名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第1次隊	7/7～7/8	救急小隊	3名	小田川北面冠水地区にて、トリアージ活動
第2次隊	7/7～7/10	救助小隊	5名	真備町冠水地区にて、救命ボートで救出活動

〈平成30年7月豪雨に伴う緊急消防援助隊活動写真〉

7月7日午前1時、一宮PAに集結した愛知県大隊

冠水地区手前にて救命ボート等資機材を準備



真備町地内にて愛知県大隊担当エリアを検索



建物2階まで及ぶ浸水の中での救出活動



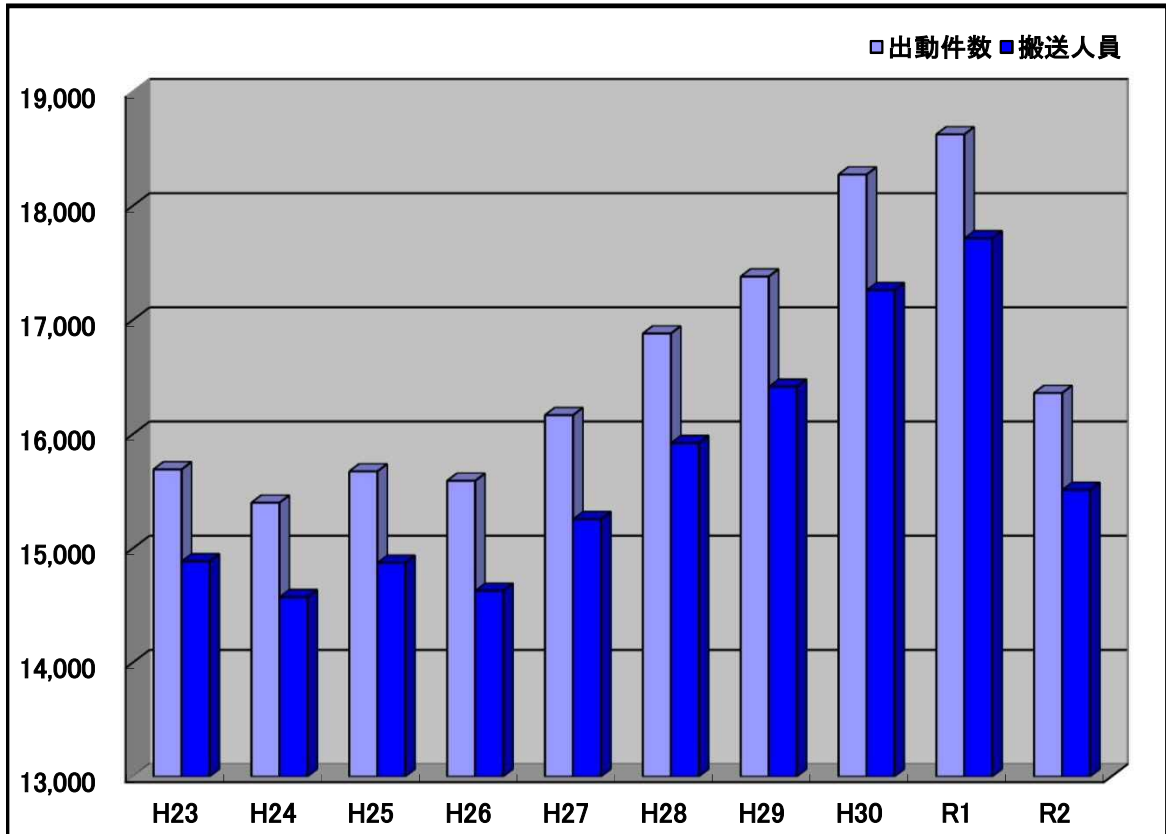
救 急



救 助



過去10年間の救急活動状況



(上段) 出動件数 / (下段) 搬送人員												
区分	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
H23	15,692	94	2	5	1,846	168	123	1,829	73	169	10,252	1,131
	14,887	15			1,955	167	128	1,773	67	126	9,781	875
H24	15,400	67		11	1,763	156	140	1,807	76	125	10,189	1,066
	14,574	17		2	1,846	155	140	1,740	64	92	9,713	805
H25	15,674	63		6	1,812	147	128	1,914	76	153	10,380	995
	14,874	8		3	1,902	147	132	1,836	74	107	9,883	782
H26	15,592	71	2	4	1,747	154	111	1,923	60	142	10,289	1,089
	14,629	14	2		1,834	154	115	1,844	55	101	9,700	810
H27	16,167	50	1	8	1,615	184	131	2,080	66	139	10,669	1,224
	15,257	6	1	2	1,716	180	131	1,995	57	109	10,109	951
H28	16,882	60		6	1,654	140	128	2,211	56	142	11,191	1,294
	15,923	16		1	1,732	137	131	2,132	46	106	10,591	1,031
H29	17,381	71	1	4	1,699	149	113	2,274	63	138	11,554	1,315
	16,416	13	1		1,782	144	113	2,183	55	106	10,985	1,034
H30	18,274	51	7	3	1,511	175	138	2,349	60	121	12,448	1,411
	17,262	9	7		1,551	174	141	2,272	49	88	11,875	1,096
R1	18,626	54		6	1,498	166	125	2,411	51	132	12,798	1,385
	17,716	9		1	1,523	165	126	2,347	48	94	12,313	1,090
R2	16,361	53		7	1,234	144	83	2,372	37	127	11,021	1,283
	15,513	8			1,278	142	83	2,304	35	97	10,554	1,012

曜日・月別救急出動件数

令和2年中

事故種別 区分		火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 等 輸 送	そ の 他	
曜 日 別	月	7			185	23	10	350	1	16	1,660	186	4	15	35	2,492
	火	5		1	165	29	9	329	4	18	1,545	169	1	19	16	2,310
	水	7			195	23	9	336	3	14	1,564	161	7	15	18	2,352
	木	7		1	180	29	7	336	6	18	1,650	172	2	16	22	2,446
	金	12		3	197	25	6	334	8	15	1,519	180	5	15	15	2,334
	土	9			170	11	9	344	10	21	1,442	98	4	5	22	2,145
	日	6		2	142	4	33	343	5	25	1,641	49	3	10	19	2,282
合 計		53		7	1,234	144	83	2,372	37	127	11,021	1,015	26	95	147	16,361
月 別	1月	4			111	12	4	230	4	11	1,172	94	1	8	11	1,662
	2月	3		1	114	7	7	191	5	15	934	72	3	9	6	1,367
	3月	5		1	107	12		183		10	877	69		7	8	1,279
	4月	5		1	76	12	1	188	2	9	752	88	5	9	10	1,158
	5月	1			91	7	1	170	6	8	807	88	2	9	5	1,195
	6月	4			76	12	7	180	4	10	846	102	4	13	11	1,269
	7月	6			100	8	12	190	1	9	840	84	1	4	15	1,270
	8月	6			94	31	10	169	2	12	1,114	73		12	16	1,539
	9月	3		2	105	13	15	200	2	18	929	75	2	4	14	1,382
	10月	3			127	11	10	241	6	8	942	76	1	5	20	1,450
	11月	8		1	121	9	11	199	3	7	851	85	5	5	15	1,320
	12月	5		1	112	10	5	231	2	10	957	109	2	10	16	1,470

曜日・月別救急搬送人員

令和2年中

事故種別 区分		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
		曜日別	月				190	23	10	339	1	11	1,600
	火				156	29	9	320	4	12	1,469	170	2,169
	水	2			206	23	9	327	3	12	1,501	161	2,244
	木	1			186	29	7	326	6	14	1,574	170	2,313
	金	1			213	24	6	324	7	10	1,463	179	2,227
	土	3			177	11	9	334	10	16	1,370	98	2,028
	日	1			150	3	33	334	4	22	1,577	48	2,172
合計		8			1,278	142	83	2,304	35	97	10,554	1,012	15,513
月別	1月				120	12	4	224	3	9	1,118	92	1,582
	2月				128	7	7	187	8	10	885	72	1,304
	3月				115	11		175		6	832	69	1,208
	4月	1			74	12	1	180	1	8	719	88	1,084
	5月				98	7	1	165	6	7	776	88	1,148
	6月	1			76	12	7	176	4	10	824	102	1,212
	7月	2			98	8	12	184	1	5	808	83	1,201
	8月				95	30	10	165	1	10	1,063	74	1,448
	9月				104	13	15	196	1	14	895	75	1,313
	10月	1			136	11	10	241	5	5	907	76	1,392
	11月	2			119	9	11	191	3	7	816	85	1,243
	12月	1			115	10	5	220	2	6	911	108	1,378

地区別救急出動件数

令和2年中

地区 事故種別	合計	宮	貴	神	大	向	富	葉	西	丹	浅	北	大	今	奥	萩	千	尾	木	管	
		西	船	山	志	山	士	栗	成	陽	井	方	和	伊勢	町	原	秋	西	曾	川	外
合計	16,361	656	512	810	277	352	465	757	1,408	1,011	951	350	1,638	992	599	848	774	2,564	1,323	74	
火災	53				1		1	3	7	7	2	3	5		2	2	4	10	6		
自然災害																					
水難	7									1		3						1	1	1	
交通事故	1,234	52	50	55	13	29	43	45	100	95	49	29	149	55	42	35	58	212	117	6	
労働災害	144	2	3	5		5	4	4	13	24	5	2	17	11	1	8	9	20	11		
運動競技	83	2	1	3		4		16	4	4	2	1	6	8	4	6	6	4	12		
一般負傷	2,372	83	81	145	42	50	72	106	224	143	157	62	199	133	77	125	109	369	191	4	
加害	37	2	1	3			1	1	3	5	1	1	6	3		3		4	3		
自損行為	127	4	3	6	3	4	4	8	8	18	7	3	13	9	5	5	1	18	8		
急病	11,021	337	308	550	200	228	332	560	967	693	681	242	1,199	653	383	649	437	1,713	883	6	
その他	転院搬送	1,015	68	60	25	12	27	4	5	73	8	40		21	109	81	11	146	194	74	57
	医師搬送	26		1	3		1	1	2	1	2	1		3	1	2	3	4	1		
	資機材輸送	95	95																		
	その他	147	11	4	15	6	4	3	7	8	11	6	4	23	8	3	2	1	15	16	

地区別救急搬送人員

令和2年中

地区 事故種別	合計	宮	貴	神	大	向	富	葉	西	丹	浅	北	大	今	奥	萩	千	尾	木	管
		西	船	山	志	山	士	栗	成	陽	井	方	和	伊勢	町	原	秋	西	曾	川
合計	15,513	524	490	754	257	335	438	711	1,348	952	925	323	1,572	939	576	824	759	2,454	1,259	73
火災	8									2			1				1	3	1	
自然災害																				
水難																				
交通事故	1,278	50	55	52	12	28	44	43	103	96	51	28	164	53	41	33	67	224	128	6
労働災害	142	2	3	5		5	4	3	13	24	5	2	17	10	1	8	9	20	11	
運動競技	83	2	1	3		4		16	4	4	2	1	6	8	4	6	6	4	12	
一般負傷	2,304	79	76	142	39	50	68	101	222	137	156	61	191	130	76	122	107	359	184	4
加害	35	2	1	2			1	1	3	3	1	1	4	3		6		4	3	
自損行為	97	2	3	5	3	2	1	6	9	16	4	1	12	6	4	4	1	11	7	
急病	10,554	319	291	520	191	219	316	536	921	662	666	229	1,156	621	369	634	422	1,636	840	6
その他	1,012	68	60	25	12	27	4	5	73	8	40		21	108	81	11	146	193	73	57

現場到着所要時間別救急出動件数

令和2年中

現場到着 所要時間 事故種別	3	3	5	10	20	合 計	現場到着 最短所要 時間 (分)	現場到着 最長所要 時間 (分)	現場到着 平均所要 時間 (分)
	分 未 満	分 以 上 5 分 未 満	分 以 上 10 分 未 満	分 以 上 20 分 未 満	分 以 上				
合 計	275	2,447	12,380	1,245	14	16,361	0	43	6.9
急 病	108	1,648	8,510	749	6	11,021	0	43	6.9
交 通 事 故	18	146	900	165	5	1,234	0	22	7.4
一 般 負 傷	36	349	1,802	185		2,372	0	19	6.9
上 記 以 外	113	304	1,168	146	3	1,734	0	22	6.4

收容所要時間別救急搬送人員

令和2年中

收容 所要時間 事故種別	10	10		20		30		60		120		合 計	收容 最短 所要 時間 (分)	收容 最長 所要 時間 (分)	收容 平均 所要 時間 (分)
	分 未 満	分 以 上	分 以 上	分 以 上	分 以 上	分 以 上	分 以 上	分 以 上	分 以 上	分 以 上					
合 計	2	2,351	26	9,514	310	3,588	421	54	17	4	2	15,513	8	183	25.8
急 病	1	1,619	15	6,644	212	2,258	209	30	3	2	2	10,554	8	180	25.5
交 通 事 故	1	148	4	713	14	411	26	5	3			1,278	9	102	27.4
一 般 負 傷		325	2	1,365	40	609	63	4		1		2,304	10	183	26.2
上 記 以 外		259	5	792	44	310	123	15	11	1		1,377	11	159	26.4

年齢区分・傷病程度別救急搬送人員

令和2年中

事故種別 区分		合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	合計	15,513	8			1,278	142	83	2,304	35	97	10,554	1,012
	死亡	248				3			21		18	205	1
	重症	1,140	1			50	13	1	60		9	803	203
	中等症	6,341	4			241	48	16	880	7	29	4,416	700
	軽症	7,784	3			984	81	66	1,343	28	41	5,130	108
	その他												
新生児	小計	111				1						6	104
	死亡												
	重症	14										1	13
	中等症	91										5	86
	軽症	6				1							5
	その他												
乳幼児	小計	506				34			162			286	24
	死亡	2										2	
	重症	9				2							7
	中等症	153				4			22			110	17
	軽症	342				28			140			174	
	その他												
少年	小計	469				110	1	51	43	3	5	248	8
	死亡	2									1	1	
	重症	12				5		1	1		1	3	1
	中等症	124				14	1	11	8		1	84	5
	軽症	331				91		39	34	3	2	160	2
	その他												
成人	小計	4,369	3			729	107	28	337	24	72	2,835	234
	死亡	42							2		8	31	1
	重症	256				20	12		7		5	167	45
	中等症	1,232	1			117	31	5	83	4	23	806	162
	軽症	2,839	2			592	64	23	245	20	36	1,831	26
	その他												
高齢者	小計	10,058	5			404	34	4	1,762	8	20	7,179	642
	死亡	202				3			19		9	171	
	重症	849	1			23	1		52		3	632	137
	中等症	4,741	3			106	16		767	3	5	3,411	430
	軽症	4,266	1			272	17	4	924	5	3	2,965	75
	その他												

新生児 : 生後28日未満の者
 乳幼児 : 生後28日以上、満7歳未満の者
 少年 : 満7歳以上、満18歳未満の者
 成人 : 満18歳以上、満65歳未満の者
 高齢者 : 満65歳以上の者

救急高度化の推移

区 分	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元年	令和 2 年
一 宮 市 人 口	386,094	386,105	385,777	385,160	384,790
救 急 出 動 件 数	16,882	17,381	18,274	18,626	16,361
人 口 1 万 人 当 た り の 出 動 件 数	437	450	474	484	425
高 規 格 救 急 車 運 用 台 数	11	11	11	11	11
救 急 救 命 士 数	85	87	87	90	91
気 管 挿 管 救 命 士 数	16	16	17	18	18
薬 剤 投 与 救 命 士 数	66	67	69	72	75
救 急 搬 送 人 員 (A)	15,923	16,416	17,262	17,716	15,513
心 肺 停 止 傷 病 者 搬 送 人 員 (B)	349	362	382	395	359
〔 救 急 隊 に よ り 心 肺 機 能 停 止 の 時 点 が 目 撃 さ れ た 心 肺 停 止 傷 病 者 搬 送 人 員 〕 (C)	(28)	(20)	(37)	(29)	(32)
バ イ ス タ ン ダ ー C P R 件 数 (D)	235	251	247	255	244
心 肺 停 止 傷 病 者 搬 送 率 % (B / A)	2	2	2	2	2
バ イ ス タ ン ダ ー C P R 実 施 率 % (D / B)	67	69	65	65	68
〔 救 急 隊 に よ り 心 肺 機 能 停 止 の 時 点 が 目 撃 さ れ た 心 肺 停 止 傷 病 者 を 除 く バ イ ス タ ン ダ ー C P R 実 施 率 % 〕 (D / (B - C))	(73.2)	(73.4)	(71.6)	(69.7)	(74.6)

一 宮 市 人 口 : 各年の4月1日現在

気 管 挿 管 救 命 士 : 医師の具体的指示下において気管挿管の処置を行うことができる救命士

薬 剤 投 与 救 命 士 : 医師の具体的指示下において薬剤投与の処置を行うことができる救命士

バ イ ス タ ン ダ ー C P R : 居合わせた人による心肺蘇生法等の一次救命処置
(胸骨圧迫、人工呼吸などが実施されていたもの)

救急隊員の行った応急処置等件数

区分	応急処置		止 血	固 定	人 工 呼 吸	心 肺 蘇 生	酸 素 吸 入	気道確保					
	対 象 人 数	件 数 合 計						計	※1	※2	※3	※4	
合計	合計	15,409	71,271	266	2,071	127	361	2,772	604	11	33	145	
	死亡	248	1,250		9	6	244	243	240	5	23	96	
	重症	1,125	5,940	9	115	80	105	639	216	5	9	42	
	中等症	6,271	29,691	51	835	39	10	1,539	127	1	1	7	
	軽症	7,765	34,390	206	1,112	2	2	351	21				
	その他												
急病	小計	10,545	48,714	70	285	114	299	2,223	512	10	18	136	
	死亡	205	1,042			5	201	203	198	4	14	91	
	重症	802	4,324	1	17	70	90	478	185	5	4	41	
	中等症	4,413	21,044	3	139	37	6	1,250	111	1		4	
	軽症	5,125	22,308	66	129	2	2	292	18				
	その他												
交通事故	小計	1,274	6,160	31	677	1	6	79	10		1		
	死亡	3	13		1		3	2	3				
	重症	50	317	3	45	1	3	38	7		1		
	中等症	241	1,297	11	170			26					
	軽症	980	4,533	17	461			13					
	その他												
一般負傷	小計	2,297	10,814	141	953	4	29	130	46	1	12	6	
	死亡	21	100		2	1	20	20	21	1	8	4	
	重症	60	322	4	32	2	6	18	11		3		
	中等症	880	4,236	32	458	1	3	65	11		1	2	
	軽症	1,336	6,156	105	461			27	3				
	その他												
上記以外	小計	1,293	5,583	24	156	8	27	340	36		2	3	
	死亡	19	97		6		20	18	18		1	1	
	重症	213	978	1	21	7	6	105	13		1	1	
	中等症	737	3,117	5	68	1	1	198	5			1	
	軽症	324	1,393	18	61			19					
	その他												

※1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保

※2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去

※3 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、
ラリングアルマスク等を使用しての気道確保

※4 気管挿管による気道確保

区分		保	被	在	除	静	そ	血	心	血	心	血	エ	ブ	薬
		温	覆	宅療法	細動	脈路確保	の他	圧測定	音・呼吸音	中酸素飽和度	電図	糖測定	ピペン投与	ドウ糖投与	剤投与
合計	合計	147	874	227	49	92	14,909	14,773	4,735	15,020	14,096	100	1	15	32
	死亡			6	15	24	158	19	15	21	235	1			14
	重症	31	33	32	34	28	1,024	1,029	413	1,044	1,084	12			12
	中等症	80	210	143		33	6,120	6,155	2,145	6,243	5,887	59	1	8	6
	軽症	36	631	46		7	7,607	7,570	2,162	7,712	6,890	28		7	
	その他														
急病	小計	112	54	200	48	84	10,332	10,143	3,713	10,260	10,124	97	1	15	28
	死亡			6	15	24	131	15	14	17	197	1			14
	重症	22	5	29	33	23	753	734	331	737	792	12			11
	中等症	63	22	132		30	4,364	4,355	1,770	4,399	4,292	57	1	8	3
	軽症	27	27	33		7	5,084	5,039	1,598	5,107	4,843	27		7	
	その他														
交通事故	小計	2	185	1		1	1,203	1,249	478	1,263	973	1			
	死亡						2				2				
	重症	1	9			1	44	46	29	46	44				
	中等症	1	44				231	241	118	241	213	1			
	軽症		132	1			926	962	331	976	714				
	その他														
一般負傷	小計	16	545	21		3	2,223	2,178	345	2,237	1,941				2
	死亡						13	2		2	19				
	重症	2	13	3		1	52	54	12	54	58				
	中等症	10	116	7		2	860	869	145	874	781				2
	軽症	4	416	11			1,298	1,253	188	1,307	1,083				
	その他														
上記以外	小計	17	90	5	1	4	1,151	1,203	199	1,260	1,058	2			2
	死亡						12	2	1	2	17				
	重症	6	6		1	3	175	195	41	207	190				1
	中等症	6	28	4		1	665	690	112	729	601	1			1
	軽症	5	56	1			299	316	45	322	250	1			
	その他														

高速道路の救急活動状況

令和2年中

区	分	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
出 動 件 数	合 計	57	2	8	8	0	3	5	2	2	6	9	6	6	
	事故種別	火 災	4			1		1				1			1
		急 病	9		3			1	1		2		1	1	
		交通事故	44	2	5	7		1	4	2		5	8	5	5
		上記以外													
	地域別	市 内	49	1	7	5		2	5	1	2	6	9	6	5
		市 外	4	1	1			1		1					
		県 外	4			3									1
		不 搬 送	11		1	4		2		1		2			1

搬 送 人 員	合 計	61	3	9	6	0	1	6	1	2	5	14	7	7	
	種 別	火 災													
		急 病	7		3				1		2			1	
		交通事故	54	3	6	6		1	5	1		5	14	6	7
		上記以外													
	性 別	男	43	2	8	4			5	1	1	3	10	4	5
		女	18	1	1	2		1	1		1	2	4	3	2
	傷病程度別	死 亡													
		重 症	1											1	
		中 等 症	10			2		1	1	1		2	1	2	
軽 症		50	3	9	4			5		2	3	13	4	7	
そ の 他															

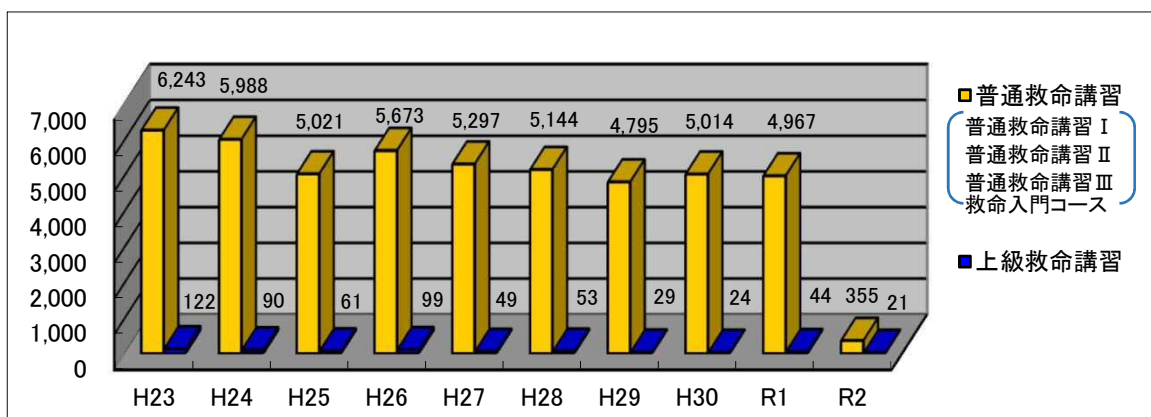
応急手当等の普及活動状況

〈救命講習等実施状況〉

令和2年中

普通救命講習								上級救命講習		応急手当普及指導員	
普通救命講習Ⅰ		普通救命講習Ⅱ		普通救命講習Ⅲ		救命入門コース					
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
27	218	0	0	18	137	0	0	1	21	1	8

〈救命講習等年別修了者数〉



〈一般救急講習実施状況〉

令和2年中

区	分	合計	学 校	保 育 園 稚 園	防 災 会	各 種 団 体	事 業 所	そ の 他
平成23年	実施回数	210	80	13	27	54	34	2
	参加人員	8,609	3,191	283	1,705	1,542	878	1,010
平成24年	実施回数	232	89	12	31	55	44	1
	参加人員	10,156	3,999	234	3,052	1,898	930	43
平成25年	実施回数	237	88	9	31	60	45	4
	参加人員	8,042	3,373	125	1,645	1,605	1,191	103
平成26年	実施回数	270	95	9	42	65	57	2
	参加人員	12,483	4,584	176	4,183	2,265	1,249	26
平成27年	実施回数	267	97	12	60	49	40	9
	参加人員	11,699	4,207	318	3,664	2,172	1,032	306
平成28年	実施回数	275	102	8	59	66	37	3
	参加人員	13,867	4,946	178	5,949	2,089	643	62
平成29年	実施回数	278	101	11	53	58	43	12
	参加人員	13,082	4,138	281	4,732	1,894	854	1,183
平成30年	実施回数	261	101	7	50	37	61	5
	参加人員	10,914	3,983	206	3,625	1,333	1,610	157
令和元年	実施回数	263	94	10	42	53	61	3
	参加人員	10,251	3,736	268	2,856	1,596	1,746	49
令和2年	実施回数	18			5	9	4	
	参加人員	462			146	207	109	

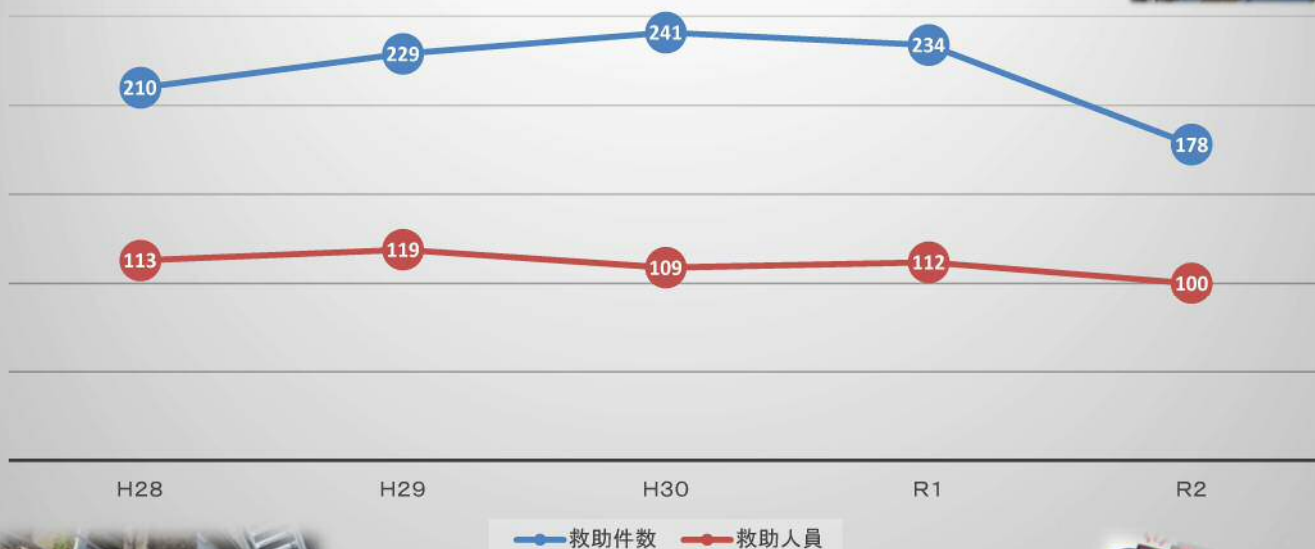
救助活動状況

令和2年中

区 分	出動件数	出 動		活動件数	救助人員
		台 数	人 員		
合 計	178	869	3,163	114	100
火 災	9	146	516	9	4
交 通 事 故	49	228	827	34	45
水 難 事 故	5	26	93	1	
風 水 害 等 自 然 災 害 事 故					
機 械 による 事 故	1	6	21	1	1
建 物 等 による 事 故	72	288	1,061	56	39
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	2	8	31	2	
破 裂 事 故					
そ の 他 の 事 故	40	167	614	11	11



過去5年間の救助件数及び救助人員の推移



※ 令和2年から国の統計事務に併せて、出動件数の算出方法を変更



月別救助出動状況

令和2年中

区 分		合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	出動件数	178	17	14	12	15	10	10	8	23	15	19	14	21
	出動人員	3,163	254	224	186	235	159	160	222	453	255	374	239	402
火 災	出動件数	9							2	2	1	2		2
	出動人員	516							126	140	47	95		108
交 通 事 故	出動件数	49	6	6	3	4	7	1	3	1	1	6	5	6
	出動人員	827	87	94	55	65	115	15	51	18	15	115	98	99
水 難 事 故	出動件数	5	1	1							1		1	1
	出動人員	93	15	21							15		21	21
風 水 害 等 自 然 災 害 事 故	出動件数													
	出動人員													
機 械 による 事 故	出動件数	1						1						
	出動人員	21						21						
建 物 等 による 事 故	出動件数	72	7	4	6	6	2	5	3	13	9	6	5	6
	出動人員	1,061	102	59	86	90	29	74	45	191	133	91	74	87
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	出動件数	2			1					1				
	出動人員	31			15					16				
破 裂 事 故	出動件数													
	出動人員													
そ の 他 の 事 故	出動件数	40	3	3	2	5	1	3		6	3	5	3	6
	出動人員	614	50	50	30	80	15	50		88	45	73	46	87

救助訓練等実施状況

陸上

令和2年度中

月	日	訓練名	場所
8月	15日	BC災害対応訓練	一宮消防署本署
9月	8日	救命索発射銃取扱い訓練	北方町北方地内(河川敷ソフトボール場)
	9日		
	10日		
	11日		
	30日	民間業者との合同訓練	木曽川消防署
10月	5日	C災害対応訓練	一宮消防署本署
	29日	令和2年度特殊(BC)災害対応訓練	一宮消防署本署
	30日		
3月	4日	震災対応訓練	名古屋市消防学校
	5日		
	10日	土砂災害・ショアリング技術講習会	一宮消防署本署

水難

令和2年度中

月	日	訓練名	場所
4月	6日	木曽川消防署ウレタンボート取扱い訓練	木曽川左岸(宝江ボート着水場)
	15日		
5月	14日	新規船舶免許取得者によるウレタンボート取扱い訓練	木曽川左岸(宝江ボート着水場)
7月	13日	潜水ランク認定訓練	一宮市温水プール
	20日		
8月	27日	潜水基本訓練(河川ランク認定)及び潜水各種検索訓練	木曽川左岸(富田ボート着水場)
	28日		
10月	5日	潜水基本訓練	一宮市温水プール
	20日	潜水応用訓練	木曽川左岸(奥町字堤下一地内)
	21日		
11月	9日	潜水基本訓練	一宮市温水プール
2月	17日	ドライスーツ潜水訓練	木曽川左岸(宝江ボート着水場)
	26日		

消防五則

- 一、自分の安全はまず自分から確保します
- 一、平素から業務に耐える気力、体力を錬成します
- 一、いかなる事態においても沈着冷静な行動をとります
- 一、各種資器材の機能、性能を把握し安全操作に習熟します
- 一、災害現場は危険が伴うことを自覚し常に警戒心を保持します

制定 平成二年一月一日

制定主旨

「市民の生命・身体及び財産を災害から守る」という消防の組織目標であり重大な使命の遂行には、常に安全に対する配慮と認識が重要です。

安全管理は、任務遂行を前提とする積極的行動対策と考え制定しました。

2021年版 消防年報（第71号）

令和3年7月発行

編集・発行

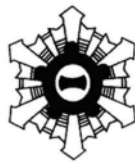
一宮市消防本部総務課

〒491-0862

一宮市緑1丁目1番10号

TEL 0586-72-0119

FAX 0586-71-1191



一宮市消防本部
《昭和23年創設》



一宮市マスコットキャラクター
「いちみん」消防 Ver.